

2019年度

# 事業報告書

(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

学校法人沖縄キリスト教学院

沖縄キリスト教学院大学  
沖縄キリスト教短期大学

## 目 次

|                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| 第1章 法人の概要                       | 1                 |
| 1. 基本情報                         | 6. 収容定員充足率卒業・修了者数 |
| 2. 建学の精神                        | 7. 役員の概要          |
| 3. 沿革                           | 8. 評議員の概要         |
| 4. 設置する学校・学部・学科等                | 9. 教職員の概要         |
| 5. 学校・学部・学科等の学生数の状況             | 10. その他           |
| 第2章 事業の概要                       | 5                 |
| 1. 主な教育・研究の概要                   |                   |
| 2. 中長期的な計画及び事業計画の推移・達成状況        |                   |
| 3. その他                          |                   |
| ① 入学志願者                         | ④ 奨学金             |
| ② 卒業生の進路等の状況                    | ⑤ 学費              |
| ③ 本学の特色その他                      | ⑥ 寄付金受入の状況        |
| 第3章 2019年度事業計画実施概要              | 18                |
| I. 事業報告概要                       |                   |
| II. 重点施策                        |                   |
| III. 教育・研究活動                    |                   |
| 1. 沖縄キリスト教学院大学の取り組み             |                   |
| 2. 沖縄キリスト教短期大学の取り組み             |                   |
| 3. FDの取り組み                      |                   |
| 4. 競争的外部資金獲得への取り組み              |                   |
| 5. 図書館の取り組み                     |                   |
| 6. キリスト教・平和プログラム                |                   |
| 7. 国際交流・海外プログラム・グローバル化の取り組み     |                   |
| 8. 学生募集・学生支援                    |                   |
| 9. 社会・地域貢献                      |                   |
| 10. 施設整備・修繕計画                   |                   |
| 11. 管理運営                        |                   |
| 12. 学習支援センターの取り組み               |                   |
| 13. IRの取り組み                     |                   |
| 第4章 財務の概要                       | 33                |
| 1. 決算の概要                        |                   |
| 2. その他 有価証券の状況等                 |                   |
| 3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策 |                   |
| 4. 主要財務比率                       |                   |

## 第1章 法人の概要

### 1. 基本情報

|            |   |
|------------|---|
| 法人の名称      | 学校法人沖縄キリスト教学院   |
| 主たる事務所の住所  | 〒903-0207 沖縄県中頭郡西原町字翁長 777                                    |
| 電話番号       | (098)946-1231   |
| FAX番号      | (098)946-1241   |
| ホームページアドレス | <a href="https://www.ocjc.ac.jp/">https://www.ocjc.ac.jp/</a> |

### 2. 建学の精神

#### 沖縄キリスト教学院創立の理由

かつて太平洋上の孤児と呼ばれた沖縄が、今日国際的な島として政治・経済・文化のあらゆる面で一大変化をなしつつあるのは実に不思議な摂理であります。しかし複雑にして矛盾の多い現在の沖縄を国際的平和の島にするには是非ともキリスト教文化が基礎をなさねばならぬことは世界史が教えている真理であります。そこでわれらは新しい沖縄の建設に直面してキリスト教の精神を身につけた人材の養成が緊要であることを確信してこの学校を設立しました。

#### 建学の精神

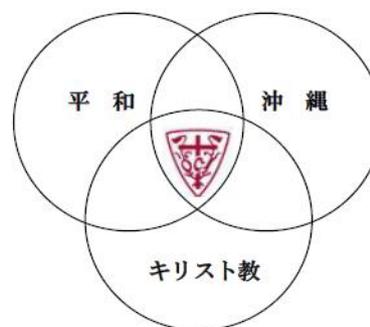
沖縄キリスト教学院は、プロテスタント福音主義に則るキリスト教精神を土台に沖縄を国際的平和の島にしてゆく人材の育成を目指し、仲里朝章牧師を中心とする沖縄キリスト教団（現、日本基督教団沖縄教区）の指導者達によって1957年（昭和32年）に建学された。そこには、これらの人々の太平洋戦争下での皇民化教育への反省と沖縄再建の強い願いがあった。

本学のそのキリスト教精神とは、聖書が証するイエス・キリストの十字架のあがないにより人類に示された和解と平和（「エフェソの信徒への手紙」2：15～16）に基づき、他民族と異文化の理解を深め、他者へ仕え、少数者の人権を尊重するものである。それゆえ本学はこの精神に立脚しつつ、過去には凄惨な地上戦を体験し、現在も軍事基地を抱える沖縄から世界へ平和を訴え発信してゆく「平和を実現する人」（「マタイによる福音書」5：9）と、キリストの謙遜さに倣い、隣人へ奉仕する（「マタイによる福音書」20：28）人材の育成を教育の使命とする。

#### Keyword

- キリスト教：イエス・キリストの十字架と復活によって示された被抑圧者への解放の知らせと、その解放が可能にする隣人への愛と奉仕の教え。
- 平和：聖書の平和（シャローム）に基づき、全人類の人権と生命の安全、そして尊厳が平等に守られる状態であり、本学院に託された使命。
- 沖縄：差別、抑圧、征服を被った沖縄の歴史を学ぶとともに、人間の残虐性を象徴する沖縄戦を通して戦争の無意味さを伝え、平和を祈り、希求する人々の生きる場。

#### 建学の精神の図式化



#### スクールモットー

「仕えられるためではなく仕えるために」（「マタイによる福音書」20：28）

### 3. 沿革

沖縄キリスト教学院（旧沖縄キリスト教学院短期大学）は、1957年4月、キリスト教精神を建学の精神とし、沖縄を国際的平和な島として再建することを標榜し、仲里朝章牧師を初代理事長・学院長とし、沖縄キリスト教団によって首里教会内に創設された。学院設立から約5年間は、教会内で授業を行う状態であったが、国内外の宗教団体始め多くの方々からの支援金（約3.3万ドル）を得て、1962年約4万ドルの総事業費を以って、旧首里城の東端に念願の校舎が完成した。

学院の草創期に在ってはキリスト教学科のみのスタートであったが、1963年には英語科と児童福祉科（後の保育科）を設置し、沖縄県内で「英語・保育の“キリ短”」として名を馳せるようになった。

1989年には現在地の西原町にキャンパス移転し、その後、2004年に沖縄キリスト教学院大学人文学部英語コミュニケーション学科を、2008年には沖縄キリスト教学院大学大学院異文化コミュニケーション学研究科を開設した。

2009年には、学院創立50周年を経て、新校舎「SHALOM会館」が完成し、館内に「沖縄キリスト教平和研究所（現：沖縄キリスト教平和総合研究所）」、及び「学習支援センター」（2011年）を設置した。

学院創立60周年を記念して「給付型奨学金創設」のための募金を2017年から3年計画で実施した。

#### 学校法人沖縄キリスト教学院の沿革

| 年 度         | 事 項   |
|-------------|---|
| 1957(昭和 32) | 沖縄キリスト教学院創立   |
| 1959(昭和 34) | 財団法人沖縄キリスト教学院が設立許可され、沖縄キリスト教学院短期大学キリスト教学科を設置                            |
| 1962(昭和 37) | 附設保母養成科を設置<br>首里キャンパス1号館落成  |
| 1963(昭和 38) | 英語科、児童福祉科を設置  |
| 1964(昭和 39) | 附設保母養成科を廃科  |
| 1966(昭和 41) | キリスト教学校教育同盟に準加盟   |
| 1967(昭和 42) | 児童福祉科を廃科し、保育科を設置<br>学校法人沖縄キリスト教学院として認可                                  |
| 1969(昭和 44) | キリスト教学校教育同盟に正式に加盟   |
| 1970(昭和 45) | 沖縄キリスト教短期大学に改称、キリスト教学科を廃科   |
| 1972(昭和 47) | 沖縄復帰に伴う文部省関係法令の特別措置に関する法令により、学校教育法による短期大学となる                            |
| 1989(平成元)   | 西原キャンパス落成、移転  |
| 2004(平成 16) | 沖縄キリスト教学院大学人文学部英語コミュニケーション学科を設置   |
| 2008(平成 20) | 沖縄キリスト教学院大学大学院異文化コミュニケーション学研究科を設置<br>沖縄キリスト教学院創立50周年記念式典を挙行             |
| 2009(平成 21) | 新校舎『沖縄キリスト教学院創立50周年記念 SHALOM 会館』落成<br>沖縄キリスト教平和研究所（現：沖縄キリスト教平和総合研究所）を設置 |
| 2011(平成 23) | 学習支援センターを設置   |

#### 4. 設置する学校・学部・学科等

(1) 沖縄キリスト教学院大学 (2004年4月1日開学)

人文学部 英語コミュニケーション学科

沖縄キリスト教学院大学大学院 (2008年4月1日開設)

異文化コミュニケーション学研究科 異文化コミュニケーション学専攻

(2) 沖縄キリスト教短期大学 (1957年4月9日開学)

英語科、保育科

#### 5. 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況 (2019年5月1日現在)

| 沖縄キリスト教学院大学          | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 現員数  |
|----------------------|------|------|------|------|
| 人文学部 英語コミュニケーション学科   | 90人  | 88人  | 390人 | 459人 |
| 大学院 異文化コミュニケーション学研究科 | 5人   | 0人   | 10人  | 1人   |
| 計                    | 95人  | 88人  | 400人 | 460人 |

| 沖縄キリスト教短期大学 | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 現員数  |
|-------------|------|------|------|------|
| 英語科         | 100人 | 63人  | 200人 | 135人 |
| 保育科         | 100人 | 100人 | 200人 | 215人 |
| 計           | 200人 | 163人 | 400人 | 350人 |

|    |      |      |      |      |
|----|------|------|------|------|
| 総計 | 295人 | 251人 | 800人 | 810人 |
|----|------|------|------|------|

#### 6. 収容定員充足率 (毎年5月1日現在)

| 学校名         | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 沖縄キリスト教学院大学 | 96%    | 97%    | 111%   | 124%   | 117%   |
| 沖縄キリスト教短期大学 | 110%   | 104%   | 106%   | 100%   | 87%    |

#### 7. 卒業・修了者数

| 沖縄キリスト教学院大学                 | 卒業生    |
|-----------------------------|--------|
| 英語コミュニケーション学科 2007年度～2019年度 | 1,254人 |

卒業生総数 (1期～13期 1,254人)

| 沖縄キリスト教学院大学 大学院                | 修了生 |
|--------------------------------|-----|
| 異文化コミュニケーション学研究科 2009年度～2019年度 | 25人 |

修了生総数 (1期～10期 25人)

| 沖縄キリスト教短期大学           | 卒業生    |
|-----------------------|--------|
| キリスト教学科 1958年度～1969年度 | 85人    |
| 児童福祉科 1963年度～1966年度   | 52人    |
| 英語科 1963年度～2018年度     | 8,096人 |
| 保育科 1967年度～2019年度     | 5,613人 |

卒業生総数 (1期～62期 13,846人)

## 8. 役員の概要（2020年3月31日現在）

理事定数10人（実数9人）、監事定数2人

| 役職  | 氏名     | 就任年月日      | 選任区分       | 常勤 | 学外 | 主な現職 |
|-----|--------|------------|------------|----|----|------|
| 理事長 | 伊波 美智子 | 2017.10.26 | 日本基督教団沖縄教区 |    |    |      |
| 理事  | 友利 廣   | 2016.4.1   | 学長         | ○  |    |      |
|     | 金 永秀   | 2017.10.21 | 評議員        | ○  |    | 宗教部長 |
|     | 譜久原 朝儀 | 2017.10.21 | 評議員        |    | ○  | 同窓会長 |
|     | 玉城 光秀  | 2017.10.21 | 評議員        |    | ○  |      |
|     | 平良 修   | 2017.10.21 | 日本基督教団沖縄教区 |    | ○  | 教区議長 |
|     | 高里 鈴代  | 2017.10.21 | 学識経験者      |    | ○  | 団体代表 |
|     | 宮城 航一  | 2017.10.21 | 学識経験者      |    | ○  | 医師   |
|     | 上間 明   | 2017.10.21 | 学識経験者      |    | ○  | 西原町長 |
| 監事  | 金城 満珠男 | 2017.10.21 |            |    | ○  | 税理士  |
|     | 瀧石 幹也  | 2017.10.21 |            |    | ○  | 会社役員 |

## 9. 評議員の概要（2020年3月31日現在）

定数23人（実数22人） 就任年月日：2017年10月21日

|      | 氏名     | 主な現職等      |       | 氏名     | 主な現職等                     |
|------|--------|------------|-------|--------|---------------------------|
| 学院職員 | 友利 廣   | 学長         | 学識経験者 | 照屋 守道  | 会社役員                      |
|      | 金 永秀   | 理事・宗教部長    |       | 折田 政博  | 牧師                        |
|      | 新垣 誠   | 人文学部長・大学教授 |       | 西村 貞雄  | 琉球大学名誉教授                  |
|      | 内間 清晴  | 図書館長・短大教授  |       | 金井 創   | 牧師・沖縄キリスト教平和総合研究所コーディネーター |
|      | 與那原 馨  | 事務局長       |       | 知念 一郎  | 財団法人理事長                   |
|      | 中田 竜次  | 総務課長       |       | 玉城 光秀  | 理事                        |
| 卒業生  | 譜久原 朝儀 | 理事・同窓会長    |       | 幸喜 徳子  | 会社役員                      |
|      | 前里 光信  | 同窓会副会長     |       | 大城 幸哉  | 西原町社会福祉協議会会長              |
|      | 阿波根 弘子 | 同窓会副会長     |       | 洲鎌 孝   | 会社顧問                      |
|      | 鈴木 紀子  | 同窓会評議員     |       | 浅野 恵美子 | 沖縄県保育問題研究会会長              |
|      | 玉城 伸悟  | 会社員        |       | 大濱 進   | 西原町教育長                    |

## 10. 教職員の概要（2019年5月1日現在）

専任教員 大学 16人（教授10人、准教授5人、講師1人）

短大 17人（教授10人、准教授4人、講師2人、助教1人）

非常勤教員 大学院 0人、大学39人、短大41人

事務職員 専任 26人、契約4人、非常勤13人、派遣4人

## 第2章 教育事業の概要

### 1. 主な教育・研究の概要

#### (1) 沖縄キリスト教学院大学

沖縄キリスト教学院大学は、教育基本法及び学校教育法に従い、キリスト教精神に基づいた学校教育を施し、人格の完成をめざし、社会に有用なる人材を育成することを目的とする。

#### 三つのポリシー

##### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ① 「仕えられるためではなく仕えるために」他者と協働し、キリストの精神を礎とした平和な地域社会・国際社会の実現へ貢献することができる（キリスト教・平和・社会貢献）。
- ② 高い人権意識と語学力を持って他者の考えや思いを理解するとともに主体性を持って自分の考えを表現し、平和的なコミュニケーションを実践することができる（語学力・社会的倫理観・コミュニケーション能力）。
- ③ 他者の文化や社会、歴史や価値観が多様であることを深く理解し、寛容性と責任感のある地球市民として共生を目指し行動できる（多文化共生）。
- ④ 修得した知識・技能を活かして地域社会の課題を発見・解決できる（地域貢献）。

##### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① キリスト教の文化や歴史を広く学ぶことで、倫理的行動規範を育む教育を行う。
- ② グローバル社会の中で多文化共生を目指す精神を養う教育を行う。
- ③ 沖縄の文化や言語、歴史や社会をテーマとした学びを通して地域を深く理解するとともに、その課題解決に主体的に取り組む能力・資質を養う教育を行う。
- ④ 教養教育の履修を背景に、他者との平和的関係を構築するためのコミュニケーション能力を育む教育を行う。

##### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 本学の「建学の精神」に賛同し、平和的な社会に主体的に貢献しようとする者。
- ② 語学の習得や他者とのコミュニケーションを積極的に行おうとする者。
- ③ 社会の様々な課題に興味があり、違う文化や価値観を持った人々と主体的に交流し共生を目指す意思がある者。
- ④ 本学で学ぶ知識や経験を地域社会や国際社会が抱える課題の解決に活かしたいという目的意識と意欲がある者。
- ⑤ 高等学校で習得すべき基礎的な学力（知識、思考力、主体性など）を身につけている者。

#### 【人文学部】

建学の精神、大学の使命・目的及び基本理念を踏まえ、人文学部の教育目的・理念を以下のように定める。

- ① 聖なるものへの畏敬の念を養う
- ② 多様性の中に調和を求める心を養う
- ③ 人類の福祉の向上に貢献できる能力を養う
- ④ グローバル化・情報化・複雑化社会に対応する能力を涵養する

#### <英語コミュニケーション学科>

国際化・グローバル化する世界の文化・経済・政治等の国際交流の場において、事実上の国際共通語(de facto international language)となっている英語において、高度のコミュニケーション能力をもって、効果的かつ分別をもって運用できる人材を育成する。

#### 学修成果の到達目標

- ① 多文化・異文化に関する知識を理解し、責任ある地球市民として平和な社会づくりに貢献できるようになる（知識・理解、態度・指向性）。
- ② 高いレベルの語学力・コミュニケーション能力を活用できるようになる（汎用的技能）。
- ③ これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、社会の課題を発見・解決できるよ

うになる（統合的な学習経験と創造的思考力）。

- ④ 批判的思考力を持って、主体的に社会と向き合えるようになる（汎用的技能）。

### 三つのポリシー

#### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ① 自己と他者を尊重する心をもって、積極的に相互理解を図り、平和を創造するために共に歩むことができること。
- ② 高度な英語運用能力とコミュニケーション能力を身につけていること。
- ③ 幅広い教養に育まれた論理的思考と批判的精神を駆使し、グローバル化する社会の課題に向き合えること。
- ④ 地域社会と国際社会の課題を深く理解し、その一員として主体的に行動・貢献できること。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① キリスト教関連科目や初年次教育、英語を使ったディスカッション・ディベートの授業、3・4年次の論文執筆・共同プロジェクト、異文化コミュニケーション等の科目をとおして、自己受容と他者への共感力を養い、他者と平和的関係を築くためのコミュニケーション能力を育む教育を行う。
- ② 初めの2年間のオーラル・文法／作文・講読の英語コア科目から上級ライティング、翻訳通訳まで4年間をとおして「汎用的技能」として英語能力を高める。CEFR等のルーブリック方式を活用した客観的基準で評価できる英語コミュニケーション力を養う教育を行う。また英語によるプレゼンテーション能力・自己表現力・情報発信力を育む教育を行う。
- ③ 国際平和学、インターンシップを含めた社会学習、実践的なコミュニケーション能力を涵養する多様な教養科目をとおして、高度にグローバル化していく世界で協働・行動するための能力や判断力を育む教育を行う。
- ④ 沖縄研究、異文化理解、海外研修・実習、ビジネス関連科目等をとおして、グローバル化する世界の中で地域社会の多様化・流動化に対応するための知識と行動力を養う教育を行う。

#### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 本学の「建学の精神」と社会的使命に賛同し、その実現に向け共に歩む者。
- ② 英語をマスターするための努力を惜しまず、英語を使って社会で活躍したい者。
- ③ 英語など主要科目において一定の知識や技能を有している者。
- ④ 自分の考えを表現し、他の人の意見を聞くことにおいて適切な思考力と判断力が発揮できる者。
- ⑤ 様々な課題に主体的に臨みつつ、他者と力を合わせることができる者。

## （2）沖縄キリスト教学院大学大学院

### 【大学院】

沖縄キリスト教学院大学大学院は、教育基本法及び学校教育法に従い、キリスト教精神に基づく人間形成を教育の基本方針とし、幅広い視野に立って精深な学識を授け、さらに高度な専門性を要する職業等に必要な能力を養い、広く国際的貢献に寄与する人材を養成することを目的とする。

### 【異文化コミュニケーション学研究科】

グローバル化、情報化時代に即し、多様なコミュニケーション能力を備えた人材および研究者を養成すること。

#### ＜異文化コミュニケーション学専攻＞

- ① 多様な国際交流能力を備える専門的職業人及び研究者の養成を図ること。
- ② より高度な専門知識を備えた英語教員及び研究者の養成を図ること。

### 三つのポリシー

#### 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ① キリストの教えに基づいた平和と共生の道を歩むことができること。
- ② 地域社会と国際社会の発展に学術研究を通して貢献できること。
- ③ 高度な研究力と教育力とで沖縄の英語教育を牽引するリーダーとなり、その発展に寄与できること。

- ④ 異文化コミュニケーションの高度な理論と実践力を身につけ、多文化共生の現場で活躍できること。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 本大学院の教育研究理念ならびに建学の精神を基礎とした教育を行う。
- ② 調査方法など修士論文執筆に必要な学術研究の基礎を早い段階から指導し、問題意識や研究課題がより大きな社会的成果となる教育を行う。
- ③ グローバルな視点で英語教育を捉え、最先端の理論が習得できる教育を行う。  
また沖縄が抱える英語教育の課題と向き合い、具体的な改善策を提案できる能力を育む教育を行う。
- ④ 修士論文のテーマや修了後の進路に関連した科目を自由に選択させることで研究の応用力と実践力を育む。また選択科目を通して多様な現場でのコミュニケーション能力を身につける。

#### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ① キリストの教えに基づいた平和と共生の道を模索できること。
- ② 沖縄、日本、アジアのみならず、世界全体を視野に入れ事象を研究できること。
- ③ 異文化コミュニケーションに興味を持ち、学位論文を執筆するための能力と展望を備えていること。
- ④ 英語教育の課題に問題意識を持ち、その解決に取り組めること。
- ⑤ 学術研究を通して社会に貢献する意欲のあること。

### （3）沖縄キリスト教短期大学

沖縄キリスト教短期大学は、教育基本法及び学校教育法に従い、キリスト教精神に基づいた学校教育を施し、人格の完成をめざし、社会に有用なる人材を育成することを目的とする。

#### 学習成果

- ① キリスト教、平和、沖縄を重んじる本学の建学の精神に立ち、地域や国際社会を理解し、他者に奉仕する心を養うことができる。
- ② 豊かな教養を身に付け、新しい知識や技能を進んで習得する意欲をもつことができる。
- ③ 教養を土台に、専門分野の基本的かつ実用的知識を身に付け、広い視野をもつことができる。
- ④ 本短期大学で習得した知識や技能を活かして、21世紀の地域や国際社会に貢献することができる。

#### 三つのポリシー

##### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

キリスト教、平和、沖縄の学びそして他者への奉仕を重んじる本学の建学の精神を理解し、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を伸ばすための主体的な学びをすることで、進路先で求められる課題解決に必要な教養と専門の基礎的知識・技能、社会人基礎力を習得した学生に学位の授与を行う。

##### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

教養教育科目及び各学科の実践的知識・技能の習得を目指す専門科目からなる体系的なカリキュラムを編成すると共に、多角的視野を養うための国際交流、地域理解、実習や就業体験等のプログラムを提供する。

##### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学の建学の精神及び各学科の教育方針に賛同し、また「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」の素地が備わっており、そして将来にわたって学ぶ意欲をもって、地域と国際社会に貢献する意志を持つ学生を求める。

#### 【英語科】

##### 教育研究目的

- ① 英語と日本語によるコミュニケーション能力を養う
- ② 国際理解を深める能力を養う

- ③ プレゼンテーションに関する能力を養う
- ④ 社会に奉仕し平和に貢献できる能力を養う

### 学習成果

- ① キリスト教を土台とする建学の精神に基づく倫理観、社会的責任感、自己管理能力を身につけることができる。
- ② 多文化・異文化に関する知識を理解することができる。
- ③ 批判的・論理的思考力を身につけることができる。
- ④ 実用的な語学力とコミュニケーションスキルを身につけることができる。

### 三つのポリシー

#### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ① 建学の精神に基づき、「平和」と「奉仕」を行動の規範として身につけている。
- ② 多文化・異文化に関する理解と国際的な視野を身につけている。
- ③ 「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」、「知識・技能」をはじめ社会人にふさわしい教養および専門分野の基礎力と批判的思考力を身につけている。
- ④ 英語・日本語による実用的なコミュニケーション能力を身につけている。
- ⑤ 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（英語）の学位を授与する。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① キリスト教関連科目や教養科目、初年次教育を通して、倫理観と行動の規範を養う。
- ② 多文化共生、異文化理解、海外研修などの科目により、国際的な視野と教養を育む。
- ③ 国際観光ビジネス関連科目により、社会における実務能力、批判的思考力、社会人基礎力を養う。
- ④ 英語の基礎的科目、日本語表現関連科目などにより、英語と日本語によるコミュニケーション能力を育み、実用的な語学力を高める。

#### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 建学の精神を理解し、地域社会と世界に奉仕する意欲のある者。
- ② 国際社会に貢献するために、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ者。
- ③ 英語と日本語によるコミュニケーションにおいて、適切な思考力・判断力・表現力を持つ者。
- ④ 知識・技能等の「学力の三要素」において、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけている者。

### 【保育科】

#### 教育研究目的

- ① キリスト精神に基づき、創造的で、感性豊かな保育者を養成する
- ② 学生と教師が相互の対話を重視し、人間力を高め合う保育者を養成する
- ③ 多彩なカリキュラムを通して、実践力、応用力を身につけた保育者を養成する
- ④ 国際的視野を持ち地域に貢献できる保育者を養成する

### 学習成果

- ① キリスト教を土台とする建学の精神に基づき、人に仕えることを喜び、感謝し、社会人としての自己形成を行うことができる。
- ② 子どもについて様々な側面から理解するための知識を習得することができる。
- ③ 子どもの健やかな発達を支援するために、多彩な保育技術を身につけることができる。
- ④ 学内外の活動をとおして、豊かな感性を身につけることができる。
- ⑤ 子どもの発達を保障するために、保護者の子育てを支援する者としての力を身につけることができる。

### 三つのポリシー

#### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- ① 他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための知識と技能を身につける。
- ② 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。
- ③ 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律して、主体的に保育を実践する態度を追求する。

- ④ 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。

#### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 教養科目では、キリスト教学をはじめ、幅広い共通教養科目を配置する。
- ② 保育科専門科目では、基礎理論に関する科目、対象の理解に関する科目、内容・方法に関する科目、表現技術に関する科目および実習に関する科目等を配置する。
- ③ 2年間で保育士資格、幼稚園教諭二種免許状および社会福祉主事任用資格の取得が可能なカリキュラムを編成する。

#### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 子どもが好きで、子どもと共に生きることを考え、子どもと一緒に自身の感情を豊かに表現することのできる者。
- ② 基礎的な学力を備え、保育の理論と実践を深く学ぶ意欲のある者。
- ③ 主体的に周囲と関わることができ、奉仕の精神を持って家庭や地域社会の保育課題解決に意欲のある者。

#### 【教養教育の学習成果】

- ① キリスト教を土台とする建学の精神に基づき、他者に仕えるための広い世界観をもって、「平和の実現」に向けて、貢献することができる。
- ② 氾濫する情報社会において、倫理的な判断力を持って、情報を収集し、運用・発信することができる。
- ③ 批判的思考力・論理的思考力・問題解決力を身につけることができる。
- ④ 専門分野をより多角的に学ぶための教養を習得することができる。

## 2. 中長期的な計画及び事業計画の推移・達成状況

第4次中長期五カ年計画 [2017年度～2021年度]は、以下の5つの基本項目を設け、推進している。3年目を終え、2020年度は総括に向けて準備する段階である。中長期五カ年計画を踏まえた単年度の事業計画の達成状況については、第3章で報告する。

1. 「建学の精神」の継承発展に向けて
2. 確かな思考力、実践力を育む教育研究環境の構築
3. 「国際的平和の島」に資する「万国津梁」の精神でグローバル化を推進
4. 組織文化の変革と経営基盤の強化
5. 共創型地域連携事業の推進

## 3. その他

### （1）入学志願者

- ① 入学志願者数の推移

沖縄キリスト教学院大学

| 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 148人   | 133人   | 116人   | 96人    | 97人    |

沖縄キリスト教学院大学 大学院

| 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 3人     | 0人     | 1人     | 0人     | 1人     |

沖縄キリスト教短期大学 ※2019年度数値には2018/10月志願者を含む

| 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 231人   | 230人   | 226人   | 200人   | 181人   |

② 2020年度入試の状況 (2020.3.31現在)

沖縄キリスト教学院大学

|       | 人文学部 | 大学院  |
|-------|------|------|
| 入学定員  | 90人  | 5人   |
| 志願者   | 97人  | 1人   |
| 合格者   | 92人  | 1人   |
| 倍率    | 1.1倍 | 1.0倍 |
| 入学者   | 79人  | 1人   |
| 3年次編入 | 11人  | —    |
| 2年次編入 | 1人   | —    |

沖縄キリスト教短期大学

|       | 英語科  | 保育科  | 計    |
|-------|------|------|------|
| 入学定員  | 100人 | 100人 | 200人 |
| 志願者   | 93人  | 88人  | 181人 |
| 合格者   | 89人  | 86人  | 175人 |
| 倍率    | 1.0倍 | 1.0倍 | 1.0倍 |
| 入学者   | 77人  | 84人  | 161人 |
| 2年次転入 | 0人   | 0人   | 0人   |
| 2年次転科 | 0人   | 0人   | 0人   |

※倍率：志願者／合格者数

(2) 卒業生の進路等の状況

① 2019年度卒業・修了生

沖縄キリスト教学院大学 98人、大学院 0人

沖縄キリスト教短期大学 159人

② 免許及び資格取得の状況

沖縄キリスト教学院大学

- 高等学校教諭一種免許状(17人)
- 中学校教諭一種免許状(17人)
- プレゼンテーション実務士(0人)
- 上級ビジネス実務士(2人)
- 上級情報処理士(0人)
- 国際ボランティア実務士(3人)
- 同時通訳士(初級)(0人)

沖縄キリスト教学院大学大学院

- 高等学校教諭専修免許状(0人)
- 中学校教諭専修免許状(0人)

沖縄キリスト教短期大学

- 幼稚園教諭二種免許状(93人)
- 保育士(102人)
- 社会福祉主事任用資格(107人)
- 秘書士(0人)
- 基礎通訳士(0人)

③ 卒業後の進路(2020.5.1現在)

沖縄キリスト教学院大学

| 英語コミュニケーション学科 |     |
|---------------|-----|
| 卒業者数          | 98人 |
| 就職者数          | 71人 |
| 進学者数          | 2人  |
| その他           | 25人 |

沖縄キリスト教短期大学

|      | 英語科 | 保育科  | 計    |
|------|-----|------|------|
| 卒業者数 | 52人 | 107人 | 159人 |
| 就職者数 | 29人 | 91人  | 120人 |
| 進学者数 | 7人  | 2人   | 9人   |
| その他  | 16人 | 14人  | 30人  |

※その他(留学希望者、一時的仕事に就いた者、進路未定者)

④ 卒業生の就職状況（2020.5.1 現在）

沖縄キリスト教学院大学

|             |     |       |     |     |     |        |
|-------------|-----|-------|-----|-----|-----|--------|
| ① 就職希望者の就職率 |     | 89.9% |     |     |     |        |
| ② 職域別就職内定状況 |     | 71 人  |     |     |     |        |
| 一般企業        | 保育園 | 幼稚園   | 施設  | 学校  | 官公庁 | その他団体等 |
| 65 人        | 1 人 | 0 人   | 0 人 | 2 人 | 2 人 | 1 人    |

沖縄キリスト教短期大学

|             |      |                            |      |        |     |     |     |        |
|-------------|------|----------------------------|------|--------|-----|-----|-----|--------|
| ① 就職希望者の就職率 |      | 95.2%（英語科 87.9%、保育科 97.8%） |      |        |     |     |     |        |
| ② 職域別就職内定状況 |      | 120 人（英語科 29 人、保育科 91 人）   |      |        |     |     |     |        |
|             | 一般企業 | 保育園                        | 幼稚園  | 認定こども園 | 施設  | 学校  | 官公庁 | その他団体等 |
| 英語科         | 28 人 | 0 人                        | 0 人  | 0 人    | 1 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人    |
| 保育科         | 11 人 | 43 人                       | 10 人 | 24 人   | 3 人 | 0 人 | 0 人 | 0 人    |

※就職希望者の内定率の算出根拠

〔就職希望者数：四大 79 人、短大合計 126 人（英語科 33 人、保育科 93 人）〕

⑤ 進学について（2020.4.1 現在）

(ア) 編入学等の推移

|           |        |        |        |        |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
|           | 2015 年 | 2016 年 | 2017 年 | 2018 年 | 2019 年 |
| 短大⇒ 四年制大学 | 17 人   | 23 人   | 12 人   | 16 人   | 9 人    |
| 四大⇒ 大学院   | 0 人    | 0 人    | 0 人    | 0 人    | 2 人    |

※2016 年度、既卒生 2 人含む

(イ) 2019 年度進学先

沖縄キリスト教学院大学

■琉球大学 大学院（1 人） ■沖縄キリスト教学院大学 大学院（1 人）

沖縄キリスト教短期大学

■沖縄キリスト教学院大学（7 人） ■沖縄国際大学（1 人） ■東海学院大学（1 人）

(3) 本学の特色その他

(1) 同時通訳・公開講座

- 同時通訳集中講座 2019 年度受講者 69 人（1993 年～2019 年 1,236 人）
- 2019 年度公開講座 129 人（前期 66 人・後期 63 人）

|     |  |
|-----|--|
| 前 期 | ① 接客英会話講座 26 人<br>② 英検 2 級&基礎文法講座 15 人<br>③ スラスラ読めるヘブライ語！ 25 人         |
| 後 期 | ① 同時通訳講座（中級） 30 人<br>② 小学校の先生のための英語発音基礎講座 10 人<br>③ スラスラ読めるヘブライ語！ 23 人 |

- 特別公開講座

①2019 年 7 月 12 日（金）実施 47 人

タイトル：アフリカ開発会議と日本の役割

講師：黒川 恒男（筑波大学客員教授）

②2019年10月19日（土）実施 70人

タイトル：学生のモチベーションを上げる英語の授業

講師：Christopher Valvona（沖縄キリスト教学院大学教授）

## （2）海外研修派遣

| 事業名           | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 台湾研修          | —      | 8人     | 12人    | 14人    | 10人    |
| 海外幼児教育研修（ハワイ） | 16人    | 9人     | 10人    | 13人    | 13人    |
| ハワイ研修         | 10人    | 9人     | 10人    | 11人    | 17人    |

## （3）HOPE－沖縄・平和キャンプ

沖縄本島の中北部、伊江島にてバイブル・スタディーや平和学習を行った。

参加者：学生11人（大学院0人、四大7人、短大1人）、教職員3人

## （4）沖縄・アジア・フレンドシップアワー

2月16日（日）沖縄バプテスト連盟 泡瀬教会訪問を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

## （5）高大連携教育による高校生の受け入れ

西原高校から2人（四大0人、短大2人）受け入れた。

※協定により聴講生は、履修した科目について課程修了の評定を受け、合格者は単位修得証明書を受けることができる

## （6）地域交流事業

高校生の就業体験（インターンシップ）の受け入れ

後期：中部商業高等学校2人、西原高等学校2人、北中城高等学校2人

## （7）地域との提携事業

西原町教育委員会との地域連携事業協定に基づき、理科教育支援事業を実施した。

◆ 理科教育支援事業運営委員会：4回

◆ 西原町内の小学校4校への理科授業（実験）サポート

坂田小学校 → 22回（16.5時間）、西原小学校 → 18回（13.5時間）

西原東小学校 → 18回（13.5時間）、西原南小学校 → 10回（7.5時間）

※新型コロナ感染拡大防止による休校のため、西原南小学校は予定よりも4回少ない実施となった

西原町教育委員会との学校教育支援事業に関する覚書に基づき、「学校ボランティア実習」を実施した。

◆ 学校教育支援事業連絡調整会議：1回

◆ 15人の教職履修者が西原町内の小・中学校にて約40時間の教育支援を実施した。

西原中学校 → 3人、西原東中学校 → 3人、坂田小学校 → 3人

西原小学校 → 2人、西原東小学校 → 2人、西原南小学校 → 2人

## 4. 奨学金

### 沖縄キリスト教学院奨学金(2019年度)

学生課

| 種類   | 連番                     | 名称                | 総額          | 内訳       |     |     | 採用人数 |    |                            | 対象・条件                      | 備考                   |
|------|------------------------|-------------------|-------------|----------|-----|-----|------|----|----------------------------|----------------------------|----------------------|
|      |                        |                   |             |          |     |     | 短大   | 大学 | 大学院                        |                            |                      |
|      | 1                      | 推薦入試 特別奨学生        | 3,135,000円  | 330,000円 | ×   | 10人 | 5    | 5  | -                          | 調査書の成績が(A)                 | 英語科3、保育科2、英コミ5       |
|      | 2                      | 一般入試前期 特別奨学生(四大)  | 円           | 165,000円 | ×   | 0人  | -    | -  | -                          | 一般入試(前期)上位1名               |                      |
|      | 3                      | 一般入試前期 特別奨学生(短大)  | 660,000円    | 165,000円 | ×   | 4人  | 4    | -  | -                          | 一般入試(前期)上位5名               | 英語科2、保育科2            |
|      |                        |                   | 165,000円    | 82,500円  | ×   | 2人  | 2    | -  | -                          |                            | 英語科2<br>後期留学1、'18繰越1 |
|      | 4                      | 一般入試後期 特別奨学生      | 330,000円    | 165,000円 | ×   | 2人  | 2    | -  | -                          | 一般入試(後期)上位1名               | 英語科1、保育科1            |
|      | 5                      | 特 待               | 5,280,000円  | 660,000円 | ×   | 8人  | 4    | 4  | -                          | 経済的理由・成績優秀                 |                      |
| 6    | 一般給付(前期採用)<br>" (後期採用) | 2,400,000円        | 200,000円    | ×        | 12人 | 6   | 6    | -  | 経済的理由・成績優秀                 |                            |                      |
|      |                        | 800,000円          | 200,000円    | ×        | 4人  | 2   | 2    | -  |                            |                            |                      |
| 特別   | 7                      | 沖縄キリスト教学院後援会      | 2,640,000円  | 330,000円 | ×   | 8人  | 4    | 4  | -                          | 経済的理由・成績優秀                 |                      |
|      | " (短期大学)               | 185,000円          | 185,000円    | ×        | 1人  | 1   | -    | -  |                            |                            |                      |
| 8    | 沖縄キリスト教学院同窓会           | 500,000円          | 100,000円    | ×        | 5人  | 2   | 3    | -  | 経済的理由・ボランティア               |                            |                      |
| 特別指定 | 9                      | 保育科 優秀            | 100,000円    | 100,000円 | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          | 保育科2年進級時の成績が極めて優秀な者        |                      |
|      | 10                     | 保育科 修学支援          | 100,000円    | 100,000円 | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          | ①児童福祉施設出身者<br>②母子家庭③教会関係者等 |                      |
|      | 11                     | 神 山 繁 貴           | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          | 学生宗教委員長                    |                      |
|      | 12                     | ランドルフスラッシャー       | 30,000円     | 10,000円  | ×   | 3人  | 2    | 1  | -                          | 学内英語弁論大会入賞者                |                      |
|      | 13                     | 金 城 重 明           | 円           | 100,000円 | ×   | 0人  | -    | -  | -                          | キリスト教信者、牧師・福祉職を目指す者        |                      |
|      | 14                     | 同 窓 会             | 100,000円    | 100,000円 | ×   | 1人  | -    | 1  | -                          | 学生会長                       |                      |
|      | 15                     | ス ラ ッ シ ャ ー       | 200,000円    | 100,000円 | ×   | 2人  | 1    | 1  | -                          | 英コミ3年、英語科2年進級時の成績が極めて優秀な者  |                      |
|      | 16                     | ち ゆ い た し き だ し き | 100,000円    | 100,000円 | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          | 障がいを持つ学生への支援               |                      |
|      | 17                     | 山 里 恵 子           | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | -    | 1  | -                          | 同時通訳を通じて学内外の行事に貢献している者     |                      |
|      | 18                     | 児童文化研究サークル        | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          | 児童文化研究サークル長                |                      |
|      | 19                     | 大 山 伸 子           | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          | ミュージックアンサンブルサークル長          |                      |
| 20   | 伊 波 美 智 子              | 600,000円          | 100,000円    | ×        | 6人  | 4   | 2    | -  | 牧師推薦で入学、又は宗教部活動に積極的に参加した者等 |                            |                      |
| 21   | 友 利 廣                  | 600,000円          | 200,000円    | ×        | 3人  | -   | 3    | -  | キリ短からキリ学へ編入した学業成績が優秀な者     |                            |                      |
| 冠奨学金 | 22                     | 千代田プライダルハウス       | 200,000円    | 100,000円 | ×   | 2人  | 1    | 1  | -                          | 成績優秀                       |                      |
|      | 23                     | 日本キリスト教団首里教会      | 100,000円    | 100,000円 | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          | ①児童福祉施設出身者<br>②母子家庭、③教会関係者 |                      |
|      | 24                     | 日本キリスト教団沖縄教区      | 800,000円    | 200,000円 | ×   | 4人  | 2    | 2  | -                          | 成績優秀で他学生の模範となる者            |                      |
|      | 25                     | O I C 教会          | 100,000円    | 50,000円  | ×   | 2人  | 1    | 1  | -                          | 優秀かつ向学心に富む他学生の模範となる学生      |                      |
|      | 26                     | NPO法人西原町人づくり支援の会  | 100,000円    | 50,000円  | ×   | 2人  | 1    | 1  | -                          |                            |                      |
|      | 27                     | 金秀青少年育成財団         | 300,000円    | 100,000円 | ×   | 3人  | 2    | 1  | -                          |                            |                      |
|      | 28                     | オ ー デ ィ フ         | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          |                            |                      |
|      | 29                     | 沖縄科学AVセンター        | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | -    | 1  | -                          |                            |                      |
|      | 30                     | 日本総合整美            | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          |                            |                      |
|      | 31                     | カミヤマ美研            | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | -    | 1  | -                          |                            |                      |
|      | 32                     | 丸 正 印 刷           | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | -    | 1  | -                          |                            |                      |
|      | 33                     | I D B R A N D     | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | -    | 1  | -                          |                            |                      |
|      | 34                     | 教 職 員 組 合         | 50,000円     | 50,000円  | ×   | 1人  | -    | 1  | -                          |                            |                      |
|      | 35                     | 国 際 印 刷           | 30,000円     | 30,000円  | ×   | 1人  | 1    | -  | -                          |                            |                      |
| その他  | 36                     | 親族授業料免除(授業料の25%)  | 2,310,000円  | 165,000円 | ×   | 14人 | 5    | 9  | -                          | 本学院に同時に在学する夫婦、親子及び兄弟姉妹     |                      |
| 計    |                        |                   | 22,415,000円 | 人数計      |     |     | 61   | 53 | 0                          |                            |                      |
|      |                        |                   |             |          |     |     | 114  |    |                            |                            |                      |

沖縄キリスト教学院奨学金\*国際交流関係(2019年度)

国際平和文化交流センター

| 種類   | 連番 | 名称               | 総額         | 内訳             | 採用人数 |    |     | 対象・条件                                     | 備考          |
|------|----|------------------|------------|----------------|------|----|-----|---|-------------|
|      |    |                  |            |                | 短大   | 大学 | 大学院 |   |             |
| 特別   | 1  | 在学留学特別奨学金        | 5,330,000円 | 410,000円 × 13人 | 3    | 10 | -   | 在学扱いでの留学を希望する者。原則GPA3.5以上。                | 学費相当額(半年間)  |
|      | 2  | 授業料減免私費外国人留学生奨学金 | 円          | 330,000円 × 人   | -    | -  | -   | "   | 年間授業料の50%減免 |
| 特別指定 | 3  | 前里 光 盛           | 円          | 100,000円 × 人   | -    | -  | -   | 外国人留学生                                    |             |
|      | 4  | 島 袋 忠 雄          | 円          | 100,000円 × 人   | -    | -  | -   | "   |             |
| その他  | 5  | 正規留学派遣奨学金        | 992,669円   | 492,669円 × 1人  | -    | 1  | -   | 在学中に協定校へ正規留学する者<br>留学先校6か月相当の授業料等(上限50万円) | 実費給付        |
|      |    |                  |            | 500,000円 × 1人  | -    | 1  | -   |   |             |
| 計    |    |                  | 6,322,669円 | 人数計            | 3    | 12 | 0   |   |             |
|      |    |                  |            |                | 15   |    |     |   |             |

※学内奨学金総計 28,737,669円

※人数総計 129人

本学奨学金以外の給付型奨学金(2019年度)

学生課

| 種類 | 連番 | 名称          | 総額       | 内訳            | 採用人数 |    |     | 対象・条件             | 備考       |
|----|----|-------------|----------|---------------|------|----|-----|-------------------|----------|
|    |    |             |          |               | 短大   | 大学 | 大学院 |                   |          |
| 学外 | 1  | 那覇西ロータリークラブ | 480,000円 | 480,000円 × 1人 | -    | 1  | -   | 成績優秀かつ学資の支弁が困難な学生 | 月額4万円を給付 |
|    | 2  | 沖縄ソントクラブ    | 円        | 330,000円 × 人  | -    | -  | -   | 地位向上を目指す女子学生への支援  | 2014年新設  |
| 計  |    |             | 480,000円 | 人数計           | 0    | 1  | 0   |                   |          |
|    |    |             |          |               | 1    |    |     |                   |          |

本学奨学金以外の給付型奨学金\*国際交流関係(2019年度)

国際平和文化交流センター

| 種類 | 連番 | 名称                                     | 総額       | 内訳  | 採用人数 |    |     | 対象・条件                   | 備考 |
|----|----|--|----------|---|------|----|-----|-------------------------|----|
|    |    |  |          |   | 短大   | 大学 | 大学院 |                         |    |
| 学外 | 1  | 沖縄から世界にトビタテ! 留学JAPAN/令和元年度官民共同海外留学支援制度 | 649,738円 | 海外滞在費用<br>月120,000円 × 3カ月<br>留学準備金等289,738円 | -    | 1  | -   | 沖縄県在住、<br>或いは沖縄県出身の大学生等 |    |
| 計  |    |  | 649,738円 | 人数計   | 0    | 1  | 0   |                         |    |
|    |    |  |          |   | 1    |    |     |                         |    |

5. 学費 (2019年度)

【大学・短大】

【大学院】

- |         |                   |                   |
|---------|-------------------|-------------------|
| ①入 学 金  | 130,000 円 (入学時のみ) | 120,000 円 (入学時のみ) |
| ②授 業 料  | 660,000 円 (年額)    | 370,000 円 (年額)    |
| ③教育充実資金 | 160,000 円 (年額)    | 100,000 円 (年額)    |
| ④実験実習料  | 実費相当額             | 実費相当額             |

## 6. 2019年度寄付金受入の状況

特別寄付（指定）

339件

19,241,528円

<個人>

|           |     |           |
|-----------|-----|-----------|
| ① 一般      | 25  | 708,000   |
| ② 同窓生・在学生 | 50  | 408,000   |
| ③ 父母      | 2   | 15,000    |
| ④ 教職員     | 194 | 1,908,207 |
| ⑤ 学内関係    | 8   | 1,239,000 |
| ⑥ 宗教関係    | 8   | 198,000   |
| ⑦ 後援会     | 0   | 0         |
| ⑧ その他     | 1   | 2,000     |
| 小計        | 288 | 4,478,207 |

<団体>

| 区分     | 件数 | 金額（円）      |
|--------|----|------------|
| ① 企業   | 21 | 2,590,000  |
| ② 団体   | 9  | 667,870    |
| ③ 宗教団体 | 15 | 1,635,451  |
| ④ 後援会  | 4  | 8,940,000  |
| ⑤ 同窓会  | 2  | 900,000    |
| 小計     | 51 | 14,763,321 |

## 第3章 2019年度事業計画実施概要

### I. 事業報告概要

地方の小規模私立大学を取り巻く環境が年々厳しさを増している。また、2020年度3月以降、新型コロナウイルスの影響で入学式の中止や遠隔授業への対応等からこれまでになかった状況で学事を進めており、柔軟な対応が求められている。そのような中、本学の最重要課題は入学者の確保であるが、入試結果は、3学科すべてで定員割れとなり、非常に厳しい結果となった。特にこれまで定員を確保していた短大保育科が定員割れとなった。18歳人口の減少や福祉系を希望する高校生が減少している外的要因はあるものの、保育士の社会的ニーズは一層高まっており、社会の期待に応えるべく、早急な対応が必要である。一方、短大英語科は増加に転じた。観光コースを設け、より実践的なカリキュラムに改編したことが奏功した。

次に財務面は学生数の減少及び補助金の減少が響き、収入減となった。支出は人件費が人手不足や働き方改革への対応で増加傾向にあり、また消費税率の引き上げ、校舎老朽化への対応等もあり、赤字決算となった。

このような中、本学の教員が世界一の称号を得た。本学の教育力と社会貢献を表す意味で、大変名誉なことであり、ここに紹介したい。

英語コミュニケーション学科のChristopher Valvona教授が出版した英語の教科書「Widgets Inc.」が英国国際文化交流機関BRITISH COUNCIL（ブリティッシュ・カウンシル）主催2019年度革新的語学教育賞「革新優秀教材・カリキュラム」部門の最優秀賞を受賞した。

これを受け、沖縄県内の現職英語教育従事者やこれから教職を目指す学生を対象に、特別公開講座「学生のモチベーションを上げる英語の授業」を実施し、沖縄県の英語教育向上に貢献した。

個別の事業報告は、2019年度事業計画に沿って次のとおり報告する。

### II. 重点施策

#### 1. 大学経営基盤の安定化

(1) 就職、進学等の出口対策の成果を入学者の安定的確保につなげる。

単年度では入学者の安定的確保につなげることはできなかった。成果を出し、入学者募集につながる取り組みを強化したい。

(2) 経済的事情等による中途退学者等を無くすため給付型奨学金、学習支援体制の拡充を図る。

2020年4月より始まる国の高等教育の修学支援制度（新たな給付型奨学金）の機関要件を満たし、学生への周知、利用促進に努めた。

学習支援センターにおいて積極的な学習支援を行い、利用者が増加した。ピアノ指導等、これまでとは違う支援での利用者も増え、学生が積極的に活用している。

(3) 私立大学等改革総合支援事業確保に向け、学長主導の対策チームを強化する。

要件を満たすべく準備してきたものの、要件が更に厳しくなり、獲得に至らなかった。

(4) 寄付金確保に向けた取り組みを強化する。

同窓会・後援会等の協力を得て、創立60周年記念募金に力を注いだ。

(5) 教育の体系性に則りカリキュラムの見直しを実施し、スリム化と人件費抑制を図る。

カリキュラム見直しとスリム化を進め、人件費の抑制を図った。

## 2. 安心安全とアメニティー性のあるキャンパス構想の推進

劣化調査及びキャンパス整備の調査・設計業者の選定を完了した。2020年度に劣化調査を実施する。

## 3. 国内外大学との交流プログラムの開発と深化

(1) 現在の国内協定校3校を増やし学生派遣制度の充実に努める。一方で、海外協定校等9校については交流プログラム実質化を図る。

国内協定校への派遣・受入ともに実績はなかったが、2020年度前期に新潟の敬和学園大学より2人の受け入れを決定した。

(2) 創立60周年記念連続寄付講座でスペイン在住のヨハン・ガルトゥング博士と専用回線による遠隔講演を行った経験を活かし、国内外大学との遠隔講座を開設するためのサテライト事業を推進する。

県外大学とのサテライト事業展開のため、将来的な実現に向け、学長間で意見交換を行った。

## 4. 組織ガバナンスの確立と危機管理体制の強化

(1) 教職員の連帯感を強めるため教職協働プログラム等を深化させる。

- 8月21日に丸一日かけて全教職員を対象に教職協働ワークショップを実施した。
- 午前中は、外部講師を招き、「教育の質保証」実践セミナーを開催した。
- 午後は、本学の抱える問題である4つのテーマに分かれて議論し、普段交わらない教職員と意見交換を行うことで、特に若手から貴重な意見を得られた意義深いものとなった。

4つのテーマ

- ① 入学者の確保、② キャンパスアメニティーの整備、
- ③ 休退学者減少のための取り組み、④ 就職支援

(2) 外部研修を奨励し本学の職場環境、業務執行を客観的に評価し職場の革新につなげる。

外部研修を奨励し、各々の業務に役立てることができた。

## 5. 新学科設置の推進

新学科設置計画は、財政面や執行体制の課題があり、推進することができなかった。引き続き執行体制の確立と工程表の見直しを行う。

## 6. 創立60周年記念給付型奨学金事業の推進

創立60周年記念事業の一環である「学生の修学支援のための給付型奨学金」創設に向けた募金活動が2020年3月で終了した。同窓会、後援会の協力体制のもと、企業や団体を訪問し、協力要請を行った。本学の特徴として、同窓生、教会、大学関係者をはじめとする個人からの協力が多く、最終的に約1,500万円の寄付金となった。寄付者の厚意に感謝するとともに、経済的に厳しい学生への支援に活かす予定である。

## 7. 共創型地域連携事業の推進

- 西原町との連携を強化し、町内の小中学生向けの職業体験プログラム「わくわくワーク」を本学において初めて実施した。
- 沖縄県SDGsパートナーに選定され、建学の精神とリンクし、誰も取り残さないことを推進することを決定した。

### III. 教育・研究活動

#### 1. 沖縄キリスト教学院大学の取り組み

##### (1) 人文学部 英語コミュニケーション学科

- ① 高度な英語力の育成
  - 1~2年次に多くの基礎英語科目を設置し、集中的英語教育を実施した。
  - 英検IBAによる外部指標の検証を行い、FDや学科会議等で結果について議論した。
  - 2年生のための「基礎ゼミナール」を新設し、英語のプレゼンテーション能力向上に努めた。
- ② 三つのポリシーを基盤とした学修成果の向上
  - 卒業時満足度調査等、IRセンターによる調査を通してディプロマ・ポリシーの達成度について議論した。
  - FDを活用したカリキュラム改善を実施し、より精度の高いアセスメントを構築するため議論した。
- ③ 教職協働プログラムの検証と改善  
図書館主催のビブリオバトルやキャリア支援課による進路セミナーなど、学科と主管課の連携によるプログラムを実施、その成果について学科会議等で報告した。
- ④ ディプロマ・ポリシー達成に向けての海外研修プログラムの改善
  - 全海外研修プログラムに事前学習科目を配置し、必ず受講することでプログラムの充実を図った。
  - 座学と連動した研修プログラムの成果について学科会議等で議論した。
- ⑤ 多様なバックグラウンドを持った学生への取り組み  
学生支援課との連携により、アドバイザー支援や履修指導などの充実を図った。

##### (2) 大学院 異文化コミュニケーション学研究科

- ① 研究科企画のプログラムと連動した広報の強化
- ② 入学者獲得へ向けて学内向けのイベントを実施
- ③ 若手研究者のアピールの強化  
学部と連携し、プログラムのあり方や運営についての議論が必要である。新学長のもと大学院の今後について方針を策定する。

#### 2. 沖縄キリスト教短期大学の取り組み

##### (1) 英語科

- ① 入学前学習支援の強化
  - 就職との連動を強化するため、AO入試合格者対象に Bridge Program I 開催し、在学生の就職内定者 2 人から就職の意義を伝えた。
  - AO、推薦、一般入試の合格者を対象に Introduction to English Study を開催し、キャリアについての授業を 3 月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。
- ② 新カリキュラムと就職の連携
  - 国際観光ビジネス関連科目を導入し、就
  - 2019 年度入学生より、国際ビジネス群を組み込んだ新カリキュラムを導入した。英語専門科目に加え、キャリアに特化した科目を履修ができ、就職活動との連携が可能となった。

更に、2020年度入学生からは、春休みにインターンシップを実施する。

③ 台湾研修と多文化共生（授業科目）の連携

台湾研修中に、沖縄についてプレゼンテーションをする機会を設定している。2019年度は台湾人にも沖縄が直面している社会問題に関心を持ってもらう意図で、基地と貧困問題について英語でプレゼンテーションを行い、台湾人のみならず、京都の大学生も関心を持った。一方、本学の学生の中国語基礎力が不足しており、簡単な中国語会話を多文化共生で実施する必要があると感じ、今後の課題である。

④ 検定（G検（グローバル人材ビジネス実務検定）・日本語検定・英検・TOEIC）対策への取り組み強化

- G検は24人が受験し、22人が合格した。
- 日本語検定試験は、英語科から20人の学生が受験し、13人が合格した。
- TOEICは、受験日程を工夫し受験率を向上させた。1年次の頃と比較において、全体の平均点はリスニング56点、リーディング22点、計79点上昇した。上級クラスには、100点以上伸びている者もいる。

⑤ 退学者数減少に向けて取り組む

- 欠席が多い学生に対し、アドバイザー教員より直接連絡をとるようにした。
- 学習に不安のある学生は、学習支援センターのサポートを勧めるとともに、カウンセラーの資格を持つ学科長がカウンセリングを実施し、きめの細かい対応を実施した。

(2) 保育科

① 学生を中心とした子育て支援を体験的に学ぶ地域子育て支援実習を行う。

- 地域子育て支援実習の実践の場として「親子ふれあい事業 ワイワイプラザ in キリ短2019」を開催した。

日時：10/19（土）午後 参加者数：215人（大人90人・子ども125人）。

- 保護者支援の実践も行い、学生にとって深い学びとなった。

② 保育の場を学ぶために保育所、施設にて保育ボランティア体験を行う。

実施。期間：4月～12月、学生数：98人、施設数：183か所

③ 養成校に係る情報を得るため、全国のセミナーなどに参加する。

参加実績

- 全国保育士養成協議会総会／6/22（土）／東京
- 保育士養成研究所研修会第1回研修会／7/7（日）／東京
- 全国保育士養成協議会第21回九州ブロックセミナー大会／8/22・23／鹿児島
- 全国保育士養成セミナー／8/29（木）～30（金）／兵庫
- 保育士養成研究所研修会第2回研修会／11/10（日）／大阪
- 保育士養成研究所研修会第3回研修会／2/23（日）／東京

④ 保育関係団体との意見交換会を実施する。

実績

- 保育所実習Ⅰ・Ⅱ連絡会（沖縄県保育士会）／7/5（金）
- 保育者養成等に関する連絡会（日本保育協会沖縄県支部）／8/26（月）
- 保育者養成等に関する連絡会（私立保育園連盟）／8/26（月）
- 保育実習Ⅰ（施設）・施設実習Ⅱ協力施設との連絡会／10/18（金）
- 保育者養成等に関する連絡会（日本キリスト教保育所同盟沖縄地区会）12/7（土）

### ⑤ その他

- 西原町保育連絡協議会と連携し「保育所実習Ⅱ／施設実習Ⅱ」の特別講義で3人の保育士の先生方を招き講話をいただいた（11/26（火））。今後も、地域と連携しながら実践の学びの場を作りたい。
- イングリッシュ・ランチテーブル（5～12月：ユニオン）を開催。英語科専任教員協力のもと、海外研修を含む、英語に興味のある学生を対象に英会話の機会を設けた。今後とも取り組みを継続していきたい。
- 年に2回、9月と3月に保育科科目担当教員FD研修会を持ち、保育科や学生についての情報共有や意見交換を行った。今後も学生の学びの質を高めるため、保育関係団体及び非常勤の先生方と連携を取りあう場を継続して持ちたい。

後期保育科科目担当教員FD研修会／9/24（火）

前期保育科科目担当教員FD研修会／3/26（木）

## （3） 教養教育

### ① 短期大学の教養教育の持続的展開

教養教育運営委員会を組織化し、旧総合教育系の以下の教育業務を移管し、委員長（短期大学部長）のもと教養教育運営委員会を組織し、13回にわたって協議を行った。その中で、保育科学生のための英語クラス「チャイルドケア・イングリッシュ」、英語科学生のための資格取得支援科目として「コンピュータリテラシーⅠ」及び「コンピュータリテラシーⅡ」の開設が話し合わせ、実現する運びとなった。

### ② 情報収集

6月に行われた「大学教育学会」大会に参加した。教養教育に関する情報を収集し、2023年実施の短大認証評価へ向けて準備を開始した。

### ③ アセスメント

2018年度に策定した教養教育のアセスメント・ポリシーに基づき、教養教育科目の学習成果を査定・検証した。

## 3. FDの取り組み

### （1） 全学的な取り組み

- ① グローバル化教育プログラムの実質化を確保するため、外国語教授法に関するFDの実施
- ② 新たに制定されたティーチング・アワード規程に則り、アワードを選出
- ③ 学生または学外者を参画させたFD委員会の開催
- ④ アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価のFDの実施
- ⑤ シラバス作成についてのFDの実施

全学的な取り組みとして、次の2点を実施した。

#### （ア）ティーチング・アワード

大学・短大各1名ティーチング・アワードを選出した（6月FD委員会）。

選出にあたり、授業評価アンケート項目の中で「教育の質」及び「授業の総合的評価」に係る設問で評価の高い教員を選出した。受賞者による公開授業及び授業検討会を行い、他の教員へ学びの機会を提供した。都合により参観できなかった教員に対し、後日動画を閲覧できるよう対応した。今後は、授業参観の実施方法等について検討する。

#### （イ）学生または学外者を参画させたFD委員会（学生FDワークショップ）

学生FDワークショップを開催し、授業について普段感じることや意見等を聴取した。

意見はFD委員会や学科等で共有された後、学生へのフィードバックを行った。

学生から様々な意見が出たことが収穫であり、今後は、実施方法等の課題について委員会で検討する。

(2) 沖縄キリスト教学院大学

グローバル化対策教育プログラムの実質化を確保するため、「万国津梁」と「建学の精神」に基づいた地球市民・SDGs教育と外国語教授法に関する教員向けFDを実施する。

外国語教授法に関して、今後の実施見直しを検討した。グローバル化対策プログラムも見直しの議論を実施する。

(3) 沖縄キリスト教短期大学

学習成果のアセスメント

- 学習成果のアセスメントについては、夏と春に短大FDワークショップを行い、保育科と英語科の両学科の状況を互いに確認し、意見交換を行った。夏はカリキュラム・マネジメント確立に向けた取り組み、春は教育プログラム改善に向けた組織体制及び取り組みについて話しあった。
- さらにICT教育の充実へ向けて、iLAS やGoogle Classroom の活用法について学内の共有を図り、特に春のワークショップにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、遠隔教育ツールとして G Suite for Education の本学への導入について情報提供と意見交換を行った。

#### 4. 競争的外部資金獲得への取り組み

(1) 私学助成

私立大学等改革総合支援事業は、新規に設定された設問等により得点が振るわず申請を見送った。他の経常費補助金特別補助の項目においては、要件にあった取組について補助申請を行った。

(2) 科学研究費補助金

- 研究代表者として大学 1 件、研究分担者として大学 2 件、短大 1 件を獲得した。次年度向け科学研究費補助金の申請は、大学 2 件であった。
- 公益信託宇流麻学術研究助成基金を大学 2 件獲得した。
- 申請について、教授会で周知案内を行ったが申請数は 2 件と少なかった。今後は、若手研究者を中心に科研費申請への取組み強化を行う。毎年琉球大学で行われる科研費説明会への参加を促す。

#### 5. 図書館の取り組み

これまでの取り組みを継続実施するとともに、以下の新たな取り組みも実施した。

- (1) 学生が図書館に興味を持ち、本との関わりを深めてもらうために、今年度は図書館スタッフが書店に赴いて選書ツアーを行い、書架の充実を図った。
- (2) 今年度から電子書籍を導入し、主に留学を目的として海外へ渡航する学生が活用できるような書籍を収集した。
- (3) SD研修会を活用し、新たに導入した海外データベース (Academic OneFile) についての講習会を教職員向けに開催して、利用促進を図った。
- (4) 図書返却ボックスを設置し、閉館後や休日の返却を可能して利便性の向上を図った。
- (5) 図書の配架スペースの狭隘化を改善するため、2F絵本コーナーに棚を追加し、学生の学習環境を整えた。

- (6) 学習テーブル・椅子等の設置場所を再検討し、1Fのフロアについては、展示やイベントの開催がし易いような動線や空間を確保した。

## 6. キリスト教・平和プログラム

### (1) 宗教部の取り組み

#### ① 建学の精神周知の要である行事の継続実施及び発展

- 月曜礼拝：前期13回、後期13回行った。  
学生宗教委員の協力と創意により、聖書の学び、学生企画礼拝などに力を入れた。
- キリスト教週間・キリスト教講演会と建学の精神懇談会  
前期キリスト教週間（4月22日～26日）  
前期キリスト教講演会（4月25日）「ロヒンギャ難民キャンプ報告」  
講師：林 峰栄氏 建学の精神懇談会： パネルディスカッション  
パネラー：金永秀宗教部長、仲里和花准教授、林峰栄氏  
コーディネーター：新垣誠教授  
後期キリスト教週間（10月21日～25日）  
後期キリスト教講演会（10月24日）  
「愛することとは、他者に寄り添うこと！？」講師：松平功氏
- クリスマス礼拝の充実発展  
クリスマス燭火礼拝 12月21日（金） メッセージ：金永秀宗教部長  
市民オーケストラ、学生・教職員による聖歌隊、多くの言語による聖書朗読と手話によるクリスマス物語。

#### ② 平和プログラムの実施

- HOPE－沖縄・平和キャンプ（2019年7月改称）  
8月12日～13日 嘉数高台～伊江島～辺野古
- HOPE－沖縄・平和キャンプの開会礼拝や講話で、アジア・太平洋戦争に至る日本と関係諸国の動向と沖縄戦、米国の統治下における沖縄の歩みと現在の状況を説明、建学の精神を考える機会を持った。（自校史教育の着手）
- 沖縄・アジア・フレンドシップアワー  
2月16日（日）、沖縄バプテスト連盟 泡瀬教会訪問を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。
- 「慰霊の日」を覚えて校内放送による全校祈禱の時を持った。  
メッセージ：伊波美智子理事長
- キリスト教平和総合研究所と協力し、平和活動のありかたを促進する。  
キリスト教平和総合研究所のプログラムに宗教委員が参加。  
月曜礼拝にてプログラムの紹介などを行った。

#### ③ 関係団体との関係強化

- 宗教部長が日本基督教団沖縄教区の諸教会や地域教会での説教奉仕を行い、宣教的連携を密にした。
- 宗教部長による「全国大学チャプレン会」及び「日本キリスト教教育学会」への出席をとおして他大学のキリスト教教育担当者との学術交流・情報交換を行った。

#### ④ 広報

- 沖縄バプテスト連盟の青少年キャンプに参加交流し、本学のキリスト教教育の広報を行った。

- 行事やキリスト教活動をホームページ、フェイスブック等のSNS を活用し、周知を図った。
- ニュースレターを発行し、学内外へPR を行った。

## (2) 沖縄キリスト教平和総合研究所の取り組み

「沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い」がこれまでの取り組みが認められ、沖縄県より第1回ちゅうちな一草の根平和貢献賞を受賞した。

①公開講座(連続講座・特別講演会) 及び研究所開所10周年記念講演会を実施する。

### 実績【主催】

- 慰霊の日・特別講演会：6月15日(土)14:00~15:30  
「インドネシアと沖縄(日本)のキリスト教が交差するところ～民衆史を視野において～」  
講師：原誠氏(元同志社大学教授)
- 研究所設立10周年記念特別講演会：9月7日(土)14:00~16:00  
「アフガニスタンに命の水を～干ばつの大地に用水路を拓く～」  
講師：中村哲氏 (PMS 総院長・ペシャワール会現地代表)
- 連続講座第1回：12月7日(土)13:00~14:30  
「日本人口の急減少と放射線被曝」  
講師：矢ヶ崎克馬氏  
(当研究所客員研究員、沖縄キリスト教短期大学客員教授、琉球大学名誉教授)
- 連続講座第2回：1月18日(土)14:00~15:30  
「平和な空を守る」条例を目指して  
講師：小林武氏 (当研究所客員研究員、沖縄大学客員教授)
- 連続講座第3回：3月1日(日)16:00~18:00  
「米軍による占領体制の固定化と1950年代における沖縄キリスト教会自立の試み」  
講師：一色哲氏 (当研究所客員研究員、帝京科学大学教授)

※3月12日に開催を予定していた連続講座第4回「北部訓練場周辺の環境問題」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期した。

### 実績【共催】

- 沖縄の教会史を学ぶ会との共催
  - ・ 沖縄の神学講演会
    - 第1回 4月13日(土) 14:00~16:00 講師：運天康正牧師(沖縄神学校教授)
    - 第2回 6月8日(土) 14:00~16:00 講師：平良修牧師(日本基督教団沖縄教区総会議長)
  - ・ 聖書翻訳一母語で読む聖書・ウィクリフの働きー
    - 1月26日(日)15:00~17:00 講師：福田崇宣教師 (日本ウィクリフ聖書翻訳協会宣教師)  
：玉那覇正信牧師 (日本基督教団沖縄教区牧師)
- 信教の自由委員会との共催
  - ・ 信教の自由を守る日集会 2月11日(火)14:00~16:00  
「国家・憲法・個人」～憲法改正と私達の生活～ 講師：小林武氏 (当研究所客員研究員)  
：平良修氏 (沖縄教区総会議長)

## ②仲里朝章文庫の一般公開作業

ボランティアの協力でPDF版の製本作業を進める。2020年4月に一般公開予定。

③9 条世界宗教者会議参加と 2020 年度本学開催に向けて準備を行う。

第 7 回 9 条世界宗教者会議（9 月 16 日～18 日 本学で開催）

開催地実行委員会を立ち上げた。実行委員は 17 人。

④学生の活動への支援

● 県外学校の修学旅行ガイド 2 月 6 日(木)近江兄弟社中学修学旅行ガイド実施。

● 沖縄 長崎 広島 から平和を考える学び合い 8 月 19 日(月)～22 日(木)開催。

参加者：西南学院大学、広島女学院大学、敬和学園大学、本学の学生、合計 19 人  
西原町の協力を得て現地研修のためにマイクロバスを提供していただいた。

● 現地研修（石垣島） 3 月 17 日(火)～20 日(金)実施。参加者：本学の学生 4 人

⑤他団体、機関への協力

● 東アジア平和センターの沖縄研修(8 月 14 日～16 日)に協力。

● CENA (Civil Society Education Network in Asia) Summer School in Okinawa)  
8 月 26(月)～30 日(金)に協力。

⑥客員研究員

一色哲氏、小林武氏、矢ヶ崎克馬氏が客員研究員に決まった。

⑦講演録

連続講座(IV～VI)、特別講演会の講演録を作成した。(128 ページ・300 部)

## 7. 国際交流・海外プログラム・グローバル化の取り組み

### (1) 沖縄キリスト教大学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科

① 海外プログラム学修成果の向上を図るため、事前事後研究科目との関連を強化する。

- 全海外プログラムに事前学習科目を設置し、学修成果が最大限になるよう整備した。
- 西原町との連携事業（わくわくワーク）等をとおして事後のボランティア活動なども実施し、学修成果の向上に努めた。

② 平和構築交流プログラムを通じて万国津梁の精神を育む。

新たな交流プログラムに関しては新学長のもと、検討を計画中である。

③ 寄付講座を活用した国際交流プログラムの構築を検討する。

寄付講座は継続を見合わせた。国際交流プログラムは、新たな方針で計画を策定する。

④ 英語を活用した異文化コミュニケーション能力向上を目指した交流プログラムの構築。

海外ボランティア実習において、現地大学等との交流プログラムを強化し、英語を活用する機会を増やした。英語でのディスカッションなどを実施することで、英語コミュニケーション能力の向上に努めた。

### (2) 沖縄キリスト教短期大学 英語科

① 台湾研修と事前研究科目である「多文化共生」の連動を強化する。

台湾の文化や歴史に関する情報提供を行った。また沖縄の文化を英語で伝えられるよう取り組んだ。

② 海外研修プログラムの改善について検討する。

次回の台湾研修でインターンシップが可能か検討を依頼した。また本学の学生が半年間の在学留学が可能になるよう、両大学の協定を見直した。将来的には、長栄大学へ転入学できる制度を設けたい。

### (3) 沖縄キリスト教短期大学 保育科

- ① 海外幼児教育研修へ参加する学生や英語に興味のある学生に英会話のできる場所のを提供
  - 保育科学生のためのイングリッシュ・ランチテーブル（5月～12月）を開催した。
  - 英語科教員協力のもと、海外研修を視野に入れている学生対象に英会話の機会を設けた。
  - 今後も取り組みを継続していきたい。
- ② カウアイコミュニティーカレッジ学生受け入れの研修プログラムを構築し、保育科学生との交流を促進する。
  - 受け入れプログラムを構築したが、カウアイコミュニティーカレッジとの日程調整ができず、受け入れはなかった。
  - 2020年度は、新型コロナウイルスの影響で中止が決定した。

### (4) 国際平和文化交流センター

- ① 「ハワイ研修」「海外幼児教育研修」の充実  
プログラムの検証や事前事後の学習体制を強化し、学習効果を高める。
  - 2月12日（水）～26日（水）の15日間の日程で実施した。  
「ハワイ研修」参加学生数17人（英語コミュニケーション学科12人、英語科5人）  
「海外幼児教育研修」参加学生数13人（保育科13人）
  - 研修に備え、11月から各学科と連携した各種ミーティング・説明会等を複数回実施し、パスポート等、海外渡航に必要な書類の準備、健康診断、研修費徴収等、各種情報提供を行った。
  - 事前学習は、後期開設科目「ハワイアン・スタディーズ（ハワイ研修対象）」「海外幼児教育研究（海外幼児教育研修対象）」にて実施され、授業をとおして綿密に準備ができるよう整えた。
  - 「ハワイ研修」は、英語の授業のみならず、現地の人々に向け沖縄や本学についてPRする英語のプレゼンテーションを行い、普段から学んでいる英語を実践する機会となった。また、空港やリゾートホテルの見学をとおし、ハワイと沖縄の観光産業について比較した。
  - 「海外幼児教育研修」は、複数の幼児教育施設を訪れ、保育の知識・技術を活かし、ハワイの子どもたちと交流した。特に、消滅危機言語のハワイ語のみで授業が展開される施設への訪問では、同じく話者が激減している沖縄語についても考える機会となり、見識を深めることができた。
- ② 「台湾研修」の充実  
「英語で中国語や中華文化を学ぶ」というテーマを継続し実施する。  
事前学習の体制を改め、引率教員、参加学生が負担なく学び、準備できる体制を整える。
  - 8月11日（日）～24日（土）の14日間の日程で実施した。  
「台湾研修」参加学生数10人（英語コミュニケーション学科3人、英語科7人）
  - 英語科と連携し、5月から各種ミーティング・説明会を複数回実施し、参加にあたり求められる書類や、研修費徴収等の情報提供を行った。
  - 事前学習は、英語科開設科目「多文化共生」を中心に行われ、研修当日に備えた。本研修における中国語学、台湾文化等の授業で使用される言語は英語であり、本研修の特徴と言える。
  - 更に沖縄の歴史文化を英語で発表する機会もあり、参加学生は実践的な英語力を磨くことができた。また、プログラム中は現地学生TAが参加学生を細やかにサポートし、友情深

まる交流ができた。台湾各地の施設見学も行程として盛り込まれ、多角的に台湾を学ぶ機会となり、充実した内容となった。

### ③ 留学支援の充実

- 留学カウンセリングにおいては、学生と密にコミュニケーションを図り、留学の目的を明らかにし、留学後の進路も視野に入れ、計画的で質の高い留学が実現できるよう、丁寧な指導を行った。
- 加えて、留学先への入学手続き、ビザ申請に関しても、助言・補助を行った。
- 海外留学に関するセミナーやランチ会を適宜実施した。

#### ◆ 留学セミナー

4月、10月に実施。参加学生数 4月：41人 10月：20人

学生による留学体験談や学内留学奨学金紹介を中心に、質の高い留学を達成するよう啓発した。海外大学の留学手続きに係る情報収集の方法についてレクチャーした。

#### ◆ 留学経験者とのランチ会

4月に実施。参加学生数：24人

留学経験者と相談者の情報交換、交流の場とした。

#### ◆ 進路セミナー

6月に実施。1年次学生を対象に、留学経験と就職の関連性についてレクチャーした。

#### ◆ オープンキャンパス

6月22日（第1回）、6月27日（第2回）、10月12日（第3回）に実施。

参加人数：第1回：84人、第2回：35人、第3回：9人

高校生、保護者を対象とした留学セミナーを実施した。

本学の海外留学・海外研修、奨学金制度について紹介した。

#### ◆ 出発直前オリエンテーション

8月、2月に実施。参加学生数 8月：6人、2月：7人

学内留学奨学生を中心に、留学生としての心構えや各種事務連絡に加え、海外危機管理についても注意を促し、外務省管轄の海外滞在邦人向けの安全管理システム（「在留届」、「たびレジ」）等に登録するよう案内した。

#### ◆ 学内留学奨学金

「正規留学派遣奨学金」：2人の応募があり、2人が採用された。

「在学留学特別奨学金」：採用者数は年間13人となり、昨年度から3人減少した。

### ④ 国際感覚を身につける機会の提供

「ix 国際交流友の会（以下 ix）」活動では、以下のとおり国際交流イベントを実施した。

#### ◆ 新入生ランチ会

4月に実施。参加学生数 16人 「ix」活動について新入生対象に紹介した。

#### ◆ カナダ人青年との交流会

6月に実施。参加学生数 約40人

セブンスデーアドベンチスト教会所属のカナダ人青年約20人がキャンパスに来て、本学学生と国際交流の機会をもった。

#### ◆ 沖縄の歴史文化学習会

7月に実施。参加学生数 18人

沖縄を世界に発信するための知識を学ぶべく、関連施設を見学し、沖縄の歴史文化を

振り返り、再発見することをねらいとしたフィールドワークである。加えて「沖縄地域通訳案内士」資格を有する本学職員が当日のガイドを担当し、通訳ガイドの心得についても紹介した。今年度は浦添市美術館や首里城公園等を訪問した。またフィールドワーク当日に向け、事前学習会（2回）を実施し、訪問先施設に係る基礎知識を学ぶ機会とした。

◆ 留学生親善交流会

12月に実施。参加学生数 9人

「沖縄地域留学生推進協議会」主催の事業で、沖縄県内の外国人留学生等が参加する大規模な交流会である。参加した学生たちは、普段学んでいる英語を実践する機会として、外国人留学生に積極的にコンタクトし、交流を楽しんだ。

## 8. 学生募集・学生支援

### (1) 学生募集

#### ① 入試課

##### ● オープンキャンパス

3回（6月・7月・10月）開催し、参加者数は575人と前年に比べ61人増加した。

新たな取り組みとして、体験授業を多く取り入れ、どの時間帯でも参加者が受けることができるよう工夫した。保護者の参加も増加傾向にあることから、保護者対象プログラムも充実させた。大学オリジナルグッズを作成し大学のPRを行った。

##### ● 高校内説明会、業者主催ガイダンス

高校内説明会では、約400人（前年度：300人）、業者主催ガイダンスでは約800人（前年度：約900人）の高校生が本学に興味を持ってくれた。減少している業者主催のガイダンスについては、昨年より参加本数を減らしたことによる減少と思われる。本学に興味・関心を持つ生徒は、3年生以外にも2・1年生の訪問も多く、コンベンションセンターなど大きな会場や高校内での開催に複数回参加している。

##### ● 県内通信高校へのアプローチ

今年度、通信制高校からの問い合わせや受験生も増えたことから、県立・私立高校と同様に学校訪問を積極的に行った。

#### ② 大学院

##### ● 研究科企画イベントと広報の連動で、PR効果の改善を図る。

##### ● 若手研究者のPRを中心に広報を展開する。

大学院は学科に紐づいており、今後プログラムのあり方や運営についての議論が必要である。新学長のもと、大学院の今後について方針を策定する予定である。

### (2) 学生支援

#### ① 学生生活におけるリスクの認識、及びその対策を周知徹底する。

新入生対象の学生生活オリエンテーションで複数の企業担当者から現状と対策について講演を実施した。

#### ② 「障がい学生支援 基本方針」に基づいた支援体制の定着。

学生課職員のみならず、男性職員はトイレサポート、女性職員は食事サポートと、総動員で学生の支援を行った。

#### ③ 創立60周年記念募金を活用した新たな給付型学内奨学金を創設し、2020年度より運用する。

およそ1,500万円の募金をいただいた。2020年度からは文部科学省と日本学生支援機構による「高等教育の修学支援新制度」が始まることになり。新制度を補完するものとして位置づけ「給付型学内奨学金」を学生に給付する

④ 学生会、サークル活動の活性化を図る。

サークル数が13から18に増加した。その中でも映画研究会は県内5大学参加の「琉球トラウマナイト」のコンペでグランプリを受賞するという目覚ましい活躍だった。

⑤ 編入学の進路を県内外に広く見据え、個別相談の中できめ細かい情報（評判、就職等）を提供する。

編入学者数は微減の傾向にある。各大学のカリキュラムが複雑化し、3年次編入が難しくなっている。2年次編入となると「学費」負担が重くのしかかる。

(3) 就職・キャリア支援

① 学生一人ひとりの進路・就職希望に対し、学科や他部署と連携し「個別支援」を行った。

② 社会的及び職業的自立の観点から必要な能力を在学中に育むためのキャリア支援を実施。

具体的な就職支援は以下のとおり

(ア) 個別相談・個別支援

(イ) 進路セミナー

(ウ) 就活スタートアップセミナー

(エ) キャリア&アカデミックプランニング講座

(オ) キャリア・レッスン講義

(カ) パーソナル（個人）相談会（全学年対象）

(キ) 就活体験☆合宿

(ク) 卒業生に関するアンケート（企業・事業所対象）

(ケ) 就職ガイダンス（Tcafe）

(コ) 業界・企業研究（業界研究cafe）

(サ) 学内企業説明会（学内小規模合同企業説明会「マッチングcafe」開催）

(シ) 各種資格取得対策講座の開講、資格取得奨励金給付

(ス) 採用試験対策講座の開講

(セ) 講義との連携（企業による講話、就職ガイダンス、模擬試験等の実施）

(ソ) 保護者向け就職情報の提供

(4) 高等教育の無償化への対応

大学等における修学の支援に関する法律に基づき、一定の要件を満たすことの確認を受けた大学・短期大学ともに機関要件を満たし、対象機関となった。学生課が中心となって、学生への周知を行っている。

## 9. 社会・地域貢献

(1) 西原町地域連携事業

① 西原町と沖縄キリスト教学院との包括連携協定に基づく意見交換会

2019年度スタートと同時に4月3日に開催した。西原町からは町長はじめ11人、本学からは学長はじめ10人が参加。西原町が抱える課題に関して本学ができる取り組みについて議論した。次年度も継続して行う。

② 学校ボランティア実習（新規事業）

沖縄キリスト教学院大学と西原町教育委員会の学校教育支援事業に関する覚書を9月に交わし、10月から「学校ボランティア実習」を実施した。西原町内の小学校4校と中学校2校で

支援を行った。次年度も継続して行う。

③ 理科教育支援事業（継続事業）

内間教授、照屋建太教授、高江洲非常勤講師が西原町内の小学校4校で計68時間の支援を行った。次年度も継続して行う。

④ 英語コミュニケーション学科

第6回西原町主催グッジョブにしはら☆わくわくワークを本学で初めて開催した。（12/1）  
新垣誠教授と学生のブースを設けた。

⑤ 保育科

西原町保育連絡協議会との連携事業による特別講話を本学チャペルで実施した。（11/26）  
教員免許更新講習に西原町2人の枠を確保。（2018年度より継続実施）

（2）公開講座

①同時通訳集中講座

本学の特徴的な取り組みである同時通訳集中講座を8月に開催した。  
また、その中で「特別講演」を開催した。

演題：学生のモチベーションを上げる英語の授業

—タスクを用いた実践的な英語教授法と教科書開発—

講師：Christopher Valvona 教授

②公開講座

前期3講座、後期3講座を開催し、のべ129人が受講した。

特別公開講座を7月、10月に開催し、それぞれ47人、70人が受講した。

③教員免許状更新講習

夏季休暇期間の8月に講座を開講し、のべ1,119人が受講した。

○実施期間：8月5日（月）～10日（土）

○講習数：＜短大＞必修領域1講習、選択必修領域4講習、選択領域15講習⇒計20講習

＜四大＞選択領域2講習⇒計2講習

○受講人数：＜短大＞必修領域219人、選択必修領域234人、選択領域656人⇒計1,109人

＜四大＞選択領域10人⇒計10人

（3）高大連携教育等

① 西原高等学校と沖縄キリスト教学院大学/沖縄キリスト教短期大学との連携教育協定に基づ

き、2019年度前期保育科専門科目「手話Ⅰ（火曜5限）」を2人が受講した。

また、包括連携の発展に向け、SDGs教育プログラム提供の検討を始めた。

② 近隣他校との協定締結については、継続して検討する。

③ 「高校生への学び応援プログラム」は、入試課主導の事業であったが、今年度より教務課、企画推進課を加え3課連携事業として実施。名称を「出前講座」へ変更し、より高校の要望に応じた形で実施できるよう取り組んだ。実施状況は以下のとおり。

（ア）浦添商業高校（Christopher Valvona教授、上地副学長 9/25）

（イ）宜野座高校（玉城准教授、佐久本准教授 12/2）

（ウ）知念高校2回（柳田准教授 1/21、1/24）

（エ）西原高校（Christopher Valvona教授 1/27、玉城准教授 1/28）

## 10. 施設整備・修繕計画

- (1) 第4次中長期五カ年計画に基づき、安全確保の観点から大規模修繕工事に着手するための調査・設計を実施する。
  - 前述のとおり、劣化調査及びキャンパス整備の調査・設計業者の選定を完了し、2020年度に劣化調査を実施する。
- (2) 省エネ型エアコンへの取替やトイレの整備等、学生満足度を高めるための施設整備を検討するとともに老朽化した設備の修繕を図る。
  - 学生満足度を高めるためトイレの整備を3か所実施した。  
(チャペル・体育館横、北棟2階)
  - 省エネ型エアコンへの取替は、大規模修繕と同時に行う予定である。
- (3) 学内美化への取り組み
  - 2019年4月より受動喫煙防止の観点から構内全面禁煙化とした。
  - 花や緑があふれるキャンパスづくりのため、同窓会に物心両面でご協力いただいた。

## 11. 管理運営

- (1) 財務計画

第4次中長期五カ年計画〔2017年～2021年度〕に基づき、特定資産積立を実行した。

  - 経常収支差額比率は、△4.9%であった。
  - 減価償却引当特定資産(建物)は、積立率目標値(2021年度)15%に対し13.9%を積み立てた。
  - 退職給与引当特定資産は、積立率目標値(2021年度)50%に対し40.8%を積み立てた。
- (2) 教職協働とSDの取り組み
  - 本学が直面する重要課題とその改善、解決に向け教職員の意識改革を図るため教職協働プログラムを8月に実施した(前述)。
  - 職員の能力及び資質を向上させるために全学的なSD実施計画を策定し、教職協働プログラムや沖縄県私大協共同SDを含め2019年度は、12回実施した。
  - 新たな取り組みとして、広報力の強化の観点から、現役の新聞記者を招き、「マスコミ連携、広報の仕方(プレスリリース編)」を実施した。
- (3) リスクマネジメントへの対応
  - ① 防災・防犯対策
    - 避難訓練を大学祭の時期に学生と共同で実施し、災害発生時の行動手順を確認した。
    - 職員の安全パトロールや守衛による定期巡回を行い、不審者・不審物の早期発見、事件事故の未然防止、安全確保に努めた。
    - 学生の交通安全について、声かけ、掲示物等により、継続的に啓発活動を実施した。
  - ② ハラスメント対策
    - ハラスメントを起こさない職場づくりのため、研修に参加した。全学SDを通じての啓発活動はできなかったため、2020年度に取り組む。
    - 学生に対して、相談窓口の周知を図るため、掲示した。
  - ③ 情報セキュリティ対策

情報セキュリティセミナー(9月25日開催)において、IPA(情報処理推進機構)が公開している「情報セキュリティ10大脅威2019」に基づき、現時点で注目しておきたい脅威や懸

念等について理解を深めた後、動画や実例を挙げながら、教職員（49人参加）へ注意喚起を行った。

#### （４） 広報について

- ① 広報・地域連携推進委員会の機能を強化し、入試広報と連携を図る。
  - 委員に入試課長を選出し、連携体制を構築した。
  - 広報に強い委員(玉城准教授)を選出し、広報機能強化に向けてプレスリリースに関するSDを実施した。
- ② 在学生と連携した広報活動や大学との意見交換など、共同体制の構築を図る。
  - 継続して検討する。

#### （５） 外部評価の実施

地域に根差す大学としての使命を果たすべく、近隣自治体、地元高校、企業等の協力を得て、教育の質保証に関する外部評価委員会を開催する。

- 2019年度は外部評価の実施に向けたアセスメントや自己点検等の整備を行った。

#### （６） 地域連携事業の拡充

近隣自治体、団体、企業等との連携事業を拡充し、協定締結を推進する。

- 2019年9月に新たに西原町教育委員会と学校教育支援事業に関する覚書を交わした。

#### （７） 働き方改革への対応

- 働き方改革についての研修に参加し、法令対応への準備を行った。
- 職員と個別の面接を行い、働きがいのある職場づくり心がけた。

## 12. 学習支援センターの取り組み

学生チューターを中心に、ベーシックレベル（英語・ピアノ）の学習支援をいっそう充実させ、学生一人ひとりの学習成果（ゴール）の達成を支援することに寄与できた。学習支援センターの年間利用回数は、昨年の283回から476回へと大きく伸びている。一方、各学科から選任されたセンター員による学生への個別指導の充実を図る取り組みについては、センター員との連携が課題である。

#### （１） 学生チューター制度

- 上級レベルの学生が一般学生を指導し、特に1年次の学習成果達成を図ることについては、特に英コミ1年次（英語）と保育科1年次（ピアノ）を中心に、利用率が大きく伸びている。
- チューターの経験をとおして、更なる学力・技術の向上やコミュニケーション能力、リーダーシップを養うことについては、とくにチューターリーダーにもう少しリーダーシップが発揮できるような仕組みを考えなければならない。
- 定期的にチューターミーティングを行い、チューターの育成を図ることについては、学期の間、毎週火曜日のランチタイムの30分ミーティングを行い、意見交換と状況確認などに努めた。
- 論文の書き方の指導などを取り入れることについては、保育科1年次学生3人と公務員試験対策ミーティングを2～3度行い、アドバイスと具体的な学習法の指導を行った。

#### （２） デジタルコンテンツの活用

- 単語・表現集などの作成をとおして、海外研修などの学科提供科目を技術的にバックアッ

プすることについては、関係部署からの依頼に応じる形ですすめていきたい。

- 教員とチューターが学習コンテンツを紹介・作成し、楽しみながらわかりやすく学べる仕組みを構築することについては、今年度はほとんど手付かずであった。来年度のG suite for education の導入に伴って、より活発な取り組みをしていきたい。

### 13. IRの取り組み

- 大学運営の戦略性の構築に向けて、学生生活実態調査及び授業改善アンケート、満足度調査を行い、集計・分析したものを報告書にまとめ関係各所へ提出した。
- 既存のアンケートについて、実施目的の明確化及び今後の改善につなげやすいよう見直し、項目の修正を行った。学生の入学から卒業までの一連のデータを追跡調査し、分析結果を関係部署へ提出した。
- 休退学のデータと、その他教務データを合わせて中退学者の原因分析を行った。

## 第4章 財務の概要

### 1. 決算の概要

#### ① 貸借対照表

貸借対照表の状況と経年比較

(単位:千円)

| 科目          | 2015年度<br>(平成27) | 2016年度<br>(平成28) | 2017年度<br>(平成29) | 2018年度<br>(平成30) | 2019年度<br>(令和元) |
|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 固定資産        | 3,326,132        | 3,318,408        | 3,317,482        | 3,312,847        | 3,339,537       |
| 流動資産        | 1,207,462        | 1,138,902        | 1,123,026        | 1,093,582        | 959,734         |
| 資産の部合計      | 4,533,594        | 4,457,310        | 4,440,509        | 4,406,429        | 4,299,271       |
| 固定負債        | 303,962          | 264,489          | 229,739          | 225,157          | 220,531         |
| 流動負債        | 434,174          | 416,420          | 418,889          | 354,254          | 289,903         |
| 負債の部合計      | 738,136          | 680,909          | 648,628          | 579,411          | 510,434         |
| 基本金         | 4,332,295        | 4,398,691        | 4,417,952        | 4,456,111        | 4,475,393       |
| 繰越収支差額      | △ 536,837        | △ 622,290        | △ 626,072        | △ 629,093        | △ 686,555       |
| 純資産の部合計     | 3,795,458        | 3,776,401        | 3,791,880        | 3,827,018        | 3,788,837       |
| 負債及び純資産の部合計 | 4,533,594        | 4,457,310        | 4,440,509        | 4,406,429        | 4,299,271       |

#### ② 資金収支計算書

⑦ 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

| 科目          | 2015年度<br>(平成27) | 2016年度<br>(平成28) | 2017年度<br>(平成29) | 2018年度<br>(平成30) | 2019年度<br>(令和元) |
|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 学生生徒等納付金収入  | 723,847          | 708,219          | 707,072          | 722,013          | 652,181         |
| 手数料収入       | 17,022           | 17,067           | 16,702           | 13,489           | 12,192          |
| 寄付金収入       | 17,514           | 20,520           | 16,084           | 27,560           | 19,242          |
| 補助金収入       | 133,371          | 90,080           | 124,753          | 110,789          | 100,480         |
| 資産売却収入      | 0                | 0                | 0                | 0                | 1,289           |
| 付随事業・収益事業収入 | 3,926            | 4,568            | 6,094            | 9,111            | 9,630           |
| 受取利息・配当金収入  | 3,958            | 5,231            | 4,201            | 3,304            | 2,790           |
| 雑収入         | 20,795           | 6,612            | 14,036           | 20,875           | 33,688          |
| 借入金等収入      | 0                | 0                | 0                | 0                | 0               |
| 前受金収入       | 353,831          | 352,657          | 351,296          | 323,988          | 250,080         |
| その他の収入      | 26,829           | 14,384           | 3,695            | 8,040            | 18,190          |
| 資金収入調整勘定    | △ 363,037        | △ 357,226        | △ 361,115        | △ 359,615        | △ 333,383       |
| 前年度繰越支払資金   | 1,151,213        | 1,191,717        | 1,134,514        | 1,114,675        | 1,085,624       |
| 収入の部合計      | 2,089,268        | 2,053,829        | 2,017,331        | 1,994,229        | 1,852,003       |

| 科目        | 2015年度<br>(平成27) | 2016年度<br>(平成28) | 2017年度<br>(平成29) | 2018年度<br>(平成30) | 2019年度<br>(令和元) |
|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 人件費支出     | 538,304          | 544,959          | 556,125          | 568,595          | 579,251         |
| 教育研究経費支出  | 172,293          | 168,592          | 174,198          | 172,871          | 167,872         |
| 管理経費支出    | 44,782           | 52,191           | 45,472           | 41,774           | 37,851          |
| 借入金等利息支出  | 1,791            | 1,289            | 775              | 273              | 0               |
| 借入金等返済支出  | 36,100           | 36,000           | 36,000           | 36,000           | 0               |
| 施設関係支出    | 31,617           | 13,683           | 10,122           | 845              | 28,319          |
| 設備関係支出    | 21,624           | 17,990           | 17,344           | 15,536           | 14,430          |
| 資産運用支出    | 65,000           | 65,000           | 65,000           | 70,000           | 70,000          |
| その他の支出    | 20,857           | 34,174           | 19,934           | 23,686           | 23,769          |
| 資金支出調整勘定  | △ 34,820         | △ 14,563         | △ 22,313         | △ 20,975         | △ 21,214        |
| 翌年度繰越支払資金 | 1,191,717        | 1,134,514        | 1,114,675        | 1,085,624        | 951,726         |
| 支出の部合計    | 2,089,268        | 2,053,829        | 2,017,331        | 1,994,229        | 1,852,003       |

## ① 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位:千円)

| 科目                                | 2015年度<br>(平成27) | 2016年度<br>(平成28) | 2017年度<br>(平成29) | 2018年度<br>(平成30) | 2019年度<br>(令和元) |
|-----------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 教育活動による資金収支                       |                  |                  |                  |                  |                 |
| 教育活動資金収入計                         | 911,017          | 843,048          | 881,547          | 900,617          | 824,280         |
| 教育活動資金支出計                         | 755,379          | 765,742          | 775,795          | 783,240          | 784,973         |
| 差引                                | 155,637          | 77,306           | 105,753          | 117,377          | 39,307          |
| 調整勘定等                             | 17,752           | △ 5,148          | 1,385            | △ 29,579         | △ 75,798        |
| 教育活動資金収支差額                        | 173,389          | 72,158           | 107,138          | 87,798           | △ 36,491        |
| 施設整備等活動による資金収支                    |                  |                  |                  |                  |                 |
| 施設整備等活動資金収入計                      | 24,457           | 4,018            | 3,193            | 3,220            | 4,414           |
| 施設整備等活動資金支出計                      | 83,242           | 61,673           | 42,466           | 36,381           | 62,749          |
| 差引                                | △ 58,785         | △ 57,655         | △ 39,272         | △ 33,161         | △ 58,335        |
| 調整勘定等                             | △ 5,334          | △ 5,334          | △ 3,292          | △ 1,251          | △ 2,531         |
| 施設整備等活動資金収支差額                     | △ 64,119         | △ 62,990         | △ 42,565         | △ 34,411         | △ 60,865        |
| 小計 (教育活動資金収支差額+<br>施設整備等活動資金収支差額) | 109,270          | 9,168            | 64,574           | 53,387           | 97,357          |
| その他の活動による資金収支                     |                  |                  |                  |                  |                 |
| その他の活動資金収入計                       | 4,765            | 6,378            | 4,501            | 3,846            | 13,459          |
| その他の活動資金支出計                       | 73,531           | 72,750           | 88,914           | 86,283           | 50,000          |
| 差引                                | △ 68,766         | △ 66,372         | △ 84,413         | △ 82,437         | △ 36,541        |
| 調整勘定等                             | 0                | 0                | 0                | 0                | 0               |
| その他の活動資金収支差額                      | △ 68,766         | △ 66,372         | △ 84,413         | △ 82,437         | △ 36,541        |
| 支払資金の増減額 (小計+その他<br>の活動資金収支差額)    | 40,504           | △ 57,203         | △ 19,840         | △ 29,051         | △ 133,897       |
| 前年度繰越支払資金                         | 1,151,213        | 1,191,717        | 1,134,514        | 1,114,675        | 1,085,624       |
| 翌年度繰越支払資金                         | 1,191,717        | 1,134,514        | 1,114,675        | 1,085,624        | 951,726         |

③ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書の状況と経年比較 (単位:千円)

| 科目            |             | 2015年度<br>(平成27) | 2016年度<br>(平成28) | 2017年度<br>(平成29) | 2018年度<br>(平成30) | 2019年度<br>(令和元) |
|---------------|-------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 教育活動収支        | 事業活動収入の部    |                  |                  |                  |                  |                 |
|               | 学生生徒等納付金    | 723,847          | 708,219          | 707,072          | 722,013          | 652,181         |
|               | 手数料         | 17,022           | 17,067           | 16,702           | 13,489           | 12,192          |
|               | 寄付金         | 12,057           | 16,502           | 12,890           | 24,340           | 16,108          |
|               | 経常費等補助金     | 133,371          | 90,080           | 124,753          | 110,789          | 100,480         |
|               | 付随事業収入      | 3,926            | 4,568            | 6,094            | 9,111            | 9,630           |
|               | 雑収入         | 20,795           | 6,612            | 14,036           | 20,875           | 33,688          |
|               | 教育活動収入計     | 911,017          | 843,048          | 881,547          | 900,617          | 824,280         |
|               | 事業活動支出の部    |                  |                  |                  |                  |                 |
|               | 人件費         | 534,451          | 544,778          | 558,625          | 565,263          | 575,905         |
|               | 教育研究経費      | 266,085          | 259,697          | 256,880          | 253,516          | 242,681         |
|               | 管理経費        | 55,518           | 62,944           | 55,458           | 51,691           | 47,158          |
| 徴収不能額等        | 114         | 140              | 960              | 820              | 1,960            |                 |
| 教育活動支出計       | 856,167     | 867,559          | 871,924          | 871,290          | 867,705          |                 |
| 教育活動収支差額      | 54,850      | △ 24,511         | 9,624            | 29,327           | △ 43,425         |                 |
| 教育活動外収支       | 事業活動収入の部    |                  |                  |                  |                  |                 |
|               | 受取利息・配当金    | 3,958            | 5,231            | 4,201            | 3,304            | 2,790           |
|               | その他の教育活動外収入 | 0                | 0                | 0                | 0                | 0               |
|               | 教育活動外収入計    | 3,958            | 5,231            | 4,201            | 3,304            | 2,790           |
|               | 事業活動支出の部    |                  |                  |                  |                  |                 |
|               | 借入金等利息      | 1,791            | 1,289            | 775              | 273              | 0               |
|               | その他の教育活動外支出 | 0                | 0                | 0                | 0                | 0               |
|               | 教育活動外支出計    | 1,791            | 1,289            | 775              | 273              | 0               |
| 教育活動外収支差額     | 2,167       | 3,942            | 3,426            | 3,031            | 2,790            |                 |
| 経常収支差額        | 57,017      | △ 20,569         | 13,050           | 32,358           | △ 40,635         |                 |
| 特別収支          | 事業活動収入の部    |                  |                  |                  |                  |                 |
|               | 資産売却差額      | 0                | 0                | 0                | 0                | 9               |
|               | その他の特別収入    | 5,775            | 5,878            | 3,562            | 3,515            | 3,239           |
|               | 特別収入計       | 5,775            | 5,878            | 3,562            | 3,515            | 3,248           |
|               | 事業活動支出の部    |                  |                  |                  |                  |                 |
|               | 資産処分差額      | 14,286           | 4,366            | 1,132            | 736              | 794             |
|               | その他の特別支出    | 0                | 0                | 0                | 0                | 0               |
| 特別支出計         | 14,286      | 4,366            | 1,132            | 736              | 794              |                 |
| 特別収支差額        | △ 8,511     | 1,512            | 2,430            | 2,779            | 2,455            |                 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 48,506      | △ 19,057         | 15,480           | 35,137           | △ 38,181         |                 |
| 基本金組入額合計      | △ 68,811    | △ 72,395         | △ 19,262         | △ 38,159         | △ 19,281         |                 |
| 当年度収支差額       | △ 20,306    | △ 91,452         | △ 3,782          | △ 3,022          | △ 57,462         |                 |
| 前年度繰越収支差額     | △ 516,532   | △ 536,837        | △ 622,290        | △ 626,072        | △ 629,093        |                 |
| 基本金取崩額        | 0           | △ 6,000          | 0                | 0                | 0                |                 |
| 翌年度繰越収支差額     | △ 536,837   | △ 622,290        | △ 626,072        | △ 629,093        | △ 686,555        |                 |
| (参考)          |             |                  |                  |                  |                  |                 |
| 事業活動収入計       | 920,750     | 854,157          | 889,310          | 907,437          | 830,318          |                 |
| 事業活動支出計       | 872,244     | 873,214          | 873,831          | 872,299          | 868,499          |                 |

## 2. その他

① 有価証券の状況 単位:千円

| 種 類 | 貸借対照表計上額 | 時 価     | 差 額   |
|-----|----------|---------|-------|
| 債 券 | 151,430  | 155,935 | 4,505 |

② 借入金の状況: 該当なし

③ 学校債の状況: 該当なし

④ 補助金の状況 単位:千円

| 種 類       | 金 額     |
|-----------|---------|
| 国庫補助金     | 100,300 |
| 地方公共団体補助金 | 180     |
| 合 計       | 100,480 |

⑤ 収益事業の状況: 該当なし

⑥ 関連当事者及び出資会社との取引の状況: 該当なし

⑦ 学校法人間財務取引: 該当なし

## 3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

- ・ 有形固定資産(建物等)の更新及び耐用年数経過に伴う除却、減価償却等により資産総額は減少した。
- ・ 事業活動収入の減少により、基本金組入前当年度収支差額は支出超過となった。
- ・ 収支均衡に向けて全学的に取り組むと共に、将来的な財政基盤の拡充を図る。

表1 「貸借対照表」より 資産・純資産・負債の5カ年推移

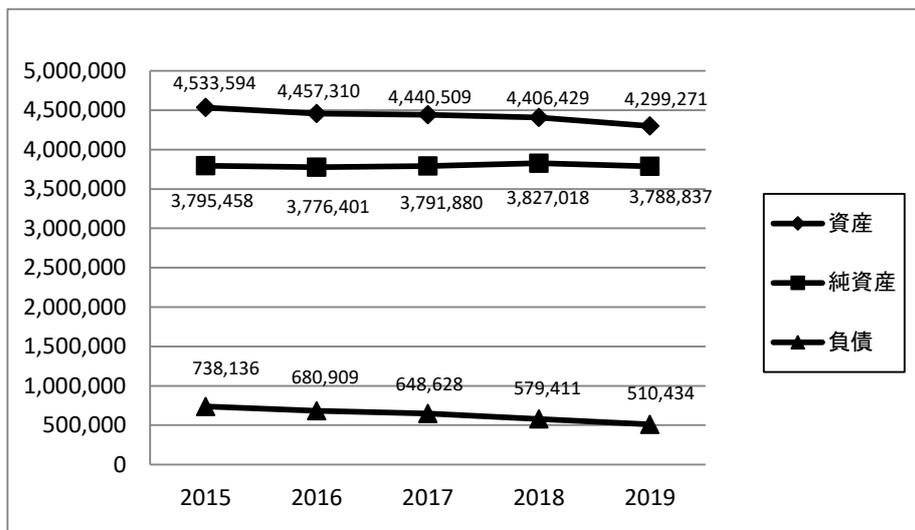


表2 「事業活動収支計算書」より 収入と支出の構成5カ年推移 (収入:左軸 支出:右軸)

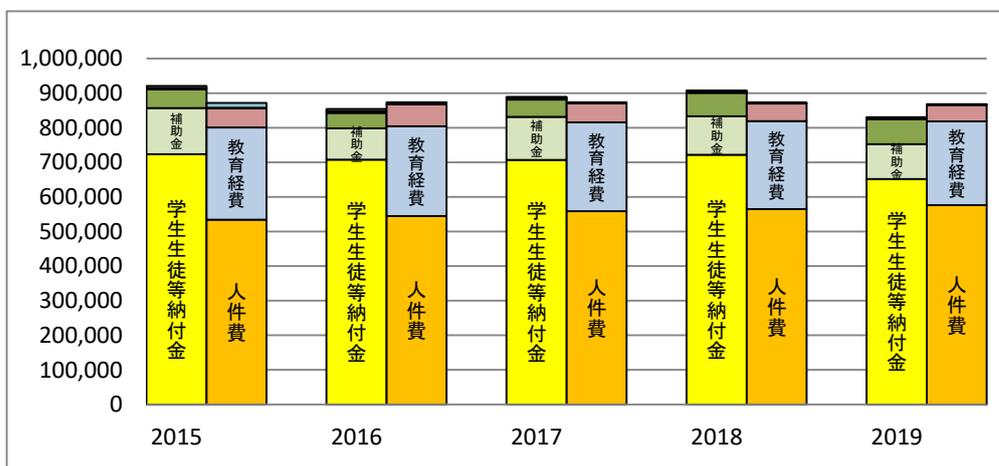
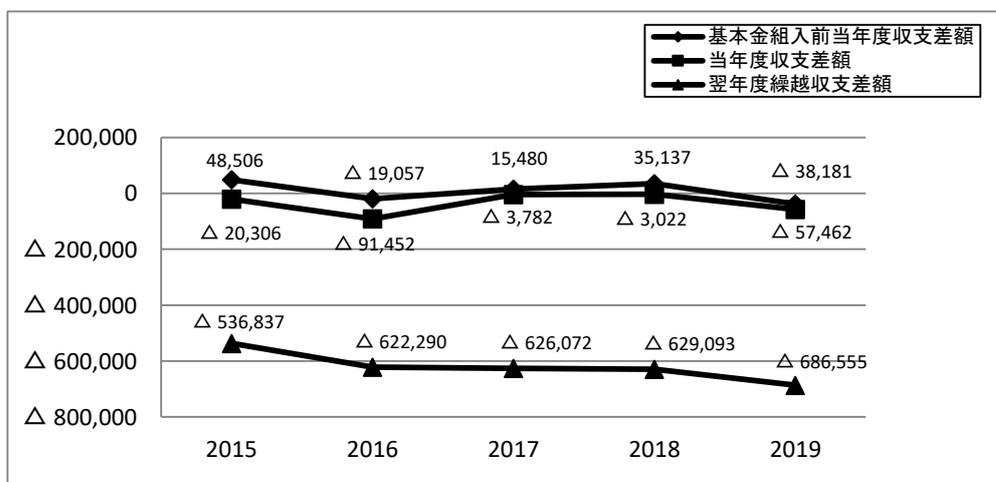


表3 「事業活動収支計算書」より 収支差額の5カ年推移



#### 4. 主要財務比率

① 沖縄キリスト教学院と全国(大学法人(医療系法人を除く)・短大法人)との比較 (単位: %)

| 貸借対照表関連比率                                   | 【比率名】<br>算式                                 | 本学院         | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---|---|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|   |   | (全国法人平均)    | (平成27) | (平成28) | (平成29) | (平成30) | (令和元)  |
| 貸借対照表関連比率                                   | 1 【運用資産余裕比率】(単位:年)<br>運用資産-外部負債<br>経常支出     | 沖縄キリスト教学院全体 | 2.0    | 2.0    | 2.1    | 2.2    | 2.1    |
|   |   | (全国大学法人)    | 1.8    | 1.8    | 1.9    | 1.9    | —      |
|   |   | (全国短大法人)    | 1.8    | 1.8    | 1.7    | 1.8    | —      |
|   | 2 【流動比率】<br>流動資産<br>流動負債                    | 沖縄キリスト教学院全体 | 278.1  | 273.5  | 268.1  | 308.7  | 331.1  |
|   |   | (全国大学法人)    | 254.1  | 252.2  | 248.3  | 246.6  | —      |
|   |   | (全国短大法人)    | 301.6  | 298.6  | 288.9  | 304.0  | —      |
| 3 【総負債比率】<br>総負債<br>総資産                     | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 16.3        | 15.3   | 14.6   | 13.1   | 11.9   |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 12.5        | 12.4   | 12.2   | 12.2   | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | 11.4        | 11.7   | 11.7   | 11.6   | —      |        |
| 4 【前受金保有率】<br>現金預金<br>前受金                   | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 336.8       | 321.7  | 317.3  | 335.1  | 380.6  |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 342.7       | 345.8  | 354.2  | 348.7  | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | 462.3       | 488.0  | 496.4  | 505.6  | —      |        |
| 5 【基本金比率】<br>基本金<br>基本金要組入額                 | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 97.3        | 98.2   | 99.1   | 99.9   | 100.0  |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 97.2        | 97.3   | 97.3   | 97.3   | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | 97.5        | 97.1   | 97.2   | 97.5   | —      |        |
| 6 【積立率】<br>運用資産<br>要積立額                     | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 97.2        | 92.8   | 92.3   | 91.2   | 90.4   |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 80.2        | 78.9   | 78.6   | 79.3   | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | 77.3        | 76.6   | 74.5   | 74.4   | —      |        |
| 活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書関連比率                   | 7 【教育活動資金収支差額比率】<br>教育活動資金収支差額<br>教育活動資金収入計 | 沖縄キリスト教学院全体 | 19.0   | 8.6    | 12.2   | 9.7    | △ 4.4  |
|   |   | 沖縄キリスト教学院大学 | 17.3   | 3.7    | 11.5   | 11.5   | △ 2.4  |
|   |   | 沖縄キリスト教短期大学 | 22.2   | 19.1   | 17.0   | 11.9   | △ 2.6  |
|   |   | (全国大学法人)    | 13.4   | 14.2   | 14.1   | 14.6   | —      |
|   | 8 【人件費比率】<br>人件費<br>経常収入                    | (全国短大法人)    | 10.3   | 10.1   | 6.9    | 7.7    | —      |
|   |   | 沖縄キリスト教学院全体 | 58.4   | 64.2   | 63.1   | 62.5   | 69.6   |
|   |   | 沖縄キリスト教学院大学 | 59.2   | 68.4   | 65.8   | 63.3   | 67.9   |
|   |   | 沖縄キリスト教短期大学 | 54.6   | 57.2   | 57.1   | 60.8   | 68.2   |
|   | 9 【人件費依存率】<br>人件費<br>学生生徒等納付金               | (全国大学法人)    | 53.7   | 53.6   | 53.8   | 53.0   | —      |
|   |   | (全国短大法人)    | 60.6   | 60.0   | 61.8   | 61.9   | —      |
|   |   | 沖縄キリスト教学院全体 | 73.8   | 76.9   | 79.0   | 78.3   | 88.3   |
|   |   | 沖縄キリスト教学院大学 | 75.7   | 77.7   | 80.8   | 75.9   | 80.9   |
| 10 【教育研究経費比率】<br>教育研究経費<br>経常収入             | 沖縄キリスト教短期大学                                 | 68.0        | 71.7   | 72.2   | 76.2   | 89.8   |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 73.0        | 72.8   | 71.9   | 70.9   | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | 96.6        | 97.9   | 101.7  | 102.3  | —      |        |
|   | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 29.1        | 30.6   | 29.0   | 28.0   | 29.3   |        |
| 11 【管理経費比率】<br>管理経費<br>経常収入                 | 沖縄キリスト教学院大学                                 | 31.1        | 34.0   | 31.3   | 30.0   | 30.8   |        |
|   | 沖縄キリスト教短期大学                                 | 27.2        | 27.7   | 27.0   | 27.3   | 28.7   |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 33.2        | 33.0   | 33.3   | 33.4   | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | 27.3        | 27.0   | 28.6   | 28.6   | —      |        |
| 12 【事業活動収支差額比率】<br>基本金組入前当年度収支差額<br>事業活動収入計 | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 6.1         | 7.4    | 6.3    | 5.7    | 5.7    |        |
|   | 沖縄キリスト教学院大学                                 | 5.9         | 7.4    | 6.2    | 5.8    | 5.7    |        |
|   | 沖縄キリスト教短期大学                                 | 4.9         | 5.7    | 5.1    | 4.9    | 4.7    |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 9.3         | 9.0    | 8.8    | 8.8    | —      |        |
| 13 【学生生徒等納付金比率】<br>学生生徒等納付金<br>経常収入         | (全国短大法人)                                    | 10.9        | 10.2   | 10.6   | 11.0   | —      |        |
|   | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 5.3         | △ 2.2  | 1.7    | 3.9    | △ 4.6  |        |
|   | 沖縄キリスト教学院大学                                 | 3.7         | △ 8.9  | △ 3.0  | 1.0    | △ 4.5  |        |
|   | 沖縄キリスト教短期大学                                 | 11.0        | 8.6    | 10.9   | 7.1    | △ 1.4  |        |
| 14 【経常収支差額比率】<br>経常収支差額<br>経常収入             | (全国大学法人)                                    | 4.7         | 4.9    | 4.9    | 4.6    | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | △ 0.2       | 7.0    | 0.8    | △ 1.3  | —      |        |
|   | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 79.1        | 83.5   | 79.8   | 79.9   | 78.9   |        |
|   | 沖縄キリスト教学院大学                                 | 78.2        | 88.0   | 81.4   | 83.4   | 83.9   |        |
| 14 【経常収支差額比率】<br>経常収支差額<br>経常収入             | 沖縄キリスト教短期大学                                 | 80.3        | 79.8   | 79.0   | 79.9   | 75.9   |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 73.7        | 73.7   | 74.7   | 74.8   | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | 62.7        | 61.3   | 60.7   | 60.5   | —      |        |
|   | 沖縄キリスト教学院全体                                 | 6.2         | △ 2.4  | 1.5    | 3.6    | △ 4.9  |        |
| 14 【経常収支差額比率】<br>経常収支差額<br>経常収入             | 沖縄キリスト教学院大学                                 | 3.6         | △ 9.9  | △ 3.4  | 0.7    | △ 4.9  |        |
|   | 沖縄キリスト教短期大学                                 | 13.1        | 9.1    | 10.8   | 6.8    | △ 1.7  |        |
|   | (全国大学法人)                                    | 3.4         | 4.1    | 3.9    | 4.5    | —      |        |
|   | (全国短大法人)                                    | 0.8         | 2.4    | △ 1.3  | △ 1.9  | —      |        |

「運用資産」=現金預金+特定資産+有価証券

「外部負債」=借入金+学校債+未払金+手形債務

「要積立額」=減価償却累計額+退職給与引当金+2号基本金+3号基本金

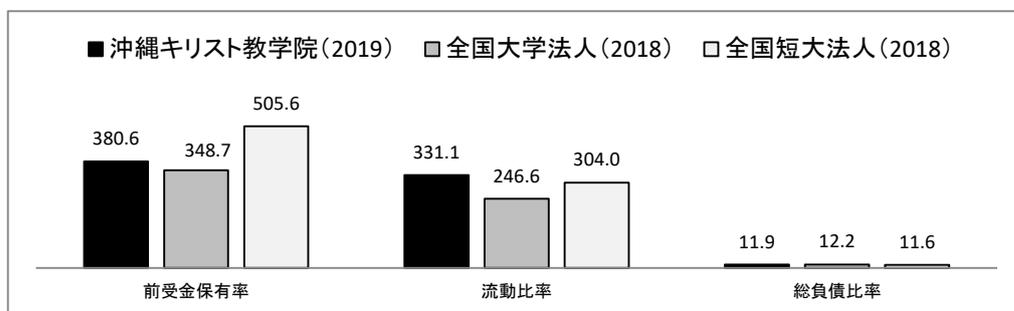
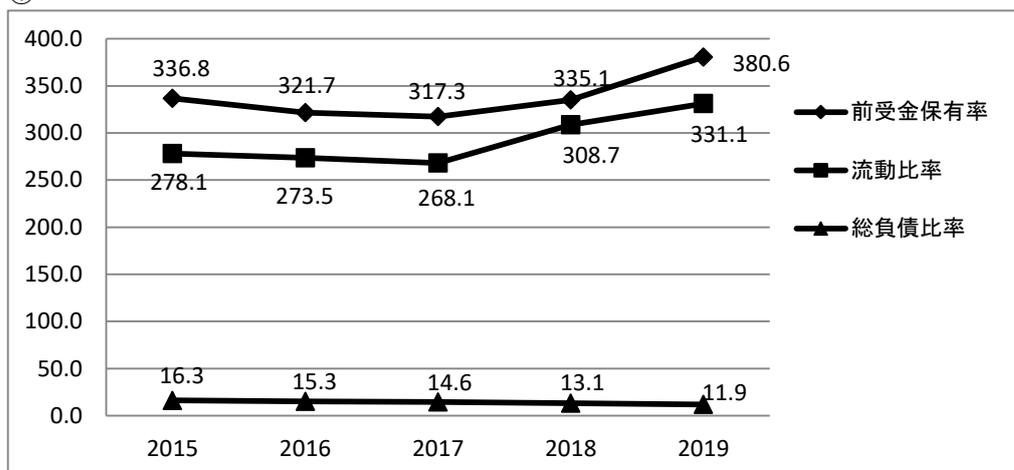
「経常収入」=教育活動収入計+教育活動外収入計

② 比率の意味 日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 『学校法人会計基準改正に伴う財務比率』より

|                           |    |              |  |
|---------------------------|----|--------------|--|
| 貸借対照表関連比率                 | 1  | 運用資産余裕比率     | 学校法人の1年間の経常的な支出規模に対して、外部負債を除いた運用資産がどの程度蓄積されているかを表す。この比率が高いほど運用資産の蓄積が良好であり、経常的な収支が安定しているといえる。<br>この比率の単位は(年)である。  |
|                           | 2  | 流動比率         | 学校法人の資金流動性すなわち短期的な支払能力を判断する重要な指標の一つである。金融機関等においてはこの比率が200%以上であれば優良とみなし、100%を切っている場合には資金繰りに窮していると見られている。ただし、学校法人は前受金の比重が大きいことや特定預金等に資金を留保している場合もあるため、必ずしもこの比率が低いといって資金繰りに窮しているとは限らない。 |
|                           | 3  | 総負債比率        | 総資産に対する他人資本の比重を評価する極めて重要な比率である。<br>この比率は低いほど望ましく、50%を超えると負債総額が純資産を上回することを示し、さらに100%を超えると負債総額が資産総額を上回る状態、いわゆる債務超過であることを示す。  |
|                           | 4  | 前受金保有率       | 当該年度に収受している翌年分の授業料や入学金等が、現金預金の形で当該年度末に適切に保有されているかを測る比率であり、100%を超えることが一般的とされている。  |
|                           | 5  | 基本金比率        | 100%に近いほど未組入額が少ないことを示している。未組入額があるということは借入金又は未払金をもって基本金組入対象資産を取得していること意味するため、100%に近いことが望ましい。  |
|                           | 6  | 積立率          | 学校法人の経営を持続的かつ安定的に継続するために必要となる運用資産の保有状況を表す。ただし、この比率は個別目的に対応した資産の保有状況を測るものではないため、学校法人の状況に応じた試算を併用することが、この比率の活用の上では重要である。   |
| 活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書関連比率 | 7  | 教育活動資金収支差額比率 | 学校経営の根幹である教育活動の収支バランスを表す。本業である教育活動収入の範囲内でどの程度余裕を持って運営できているかを把握することができる。この比率が高いほど施設設備投資に充てる資金を確保できることになる。   |
|                           | 8  | 人件費比率        | 人件費は学校における最大の支出要素であり、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因ともなる。教職員1人当たりの人件費や学生生徒等に対する教職員数等の教育研究条件に配慮しながら、実態に適った水準を維持する必要がある。   |
|                           | 9  | 人件費依存率       | 一般的に人件費は学生生徒等納付金で賄える範囲内に収まっていること、すなわちこの比率が100%を超えないことが理想的である。  |
|                           | 10 | 教育研究経費比率     | 教育研究活動の維持・充実のため不可欠なものであり、収支均衡を失わない範囲内で高い値が望ましい。ただし、著しく高い場合は収支均衡を崩す要因の一つになる。  |
|                           | 11 | 管理経費比率       | 学校法人の運営のためにはある程度の支出は止むを得ないものの、この比率は低い値が望ましい。   |
|                           | 12 | 事業活動収支差額比率   | この比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面での将来的な余裕につながる。この比率がマイナスになる場合は、当年度の事業活動収入で事業活動支出を賄うことができないことを示し、マイナス幅が大きくなるほど経営が圧迫され、将来的には資金繰りに支障をきたすことになる。   |
|                           | 13 | 学生生徒等納付金比率   | 学校法人の収入の中で最大の割合を占めており、補助金や寄付金と比べて外部要因に影響されることが少ない重要な自己財源であることから、この比率は安定的に推移することが望ましい。  |
|                           | 14 | 経常収支差額比率     | 臨時的な収支を考慮しない、通常の事業活動による収支バランスを示す比率であり、支出超過の場合は、財政がひっ迫していることを表わしており、早急な改善が求められる。  |

表1 「主要財務比率」より 貸借対照表関連比率

①



②

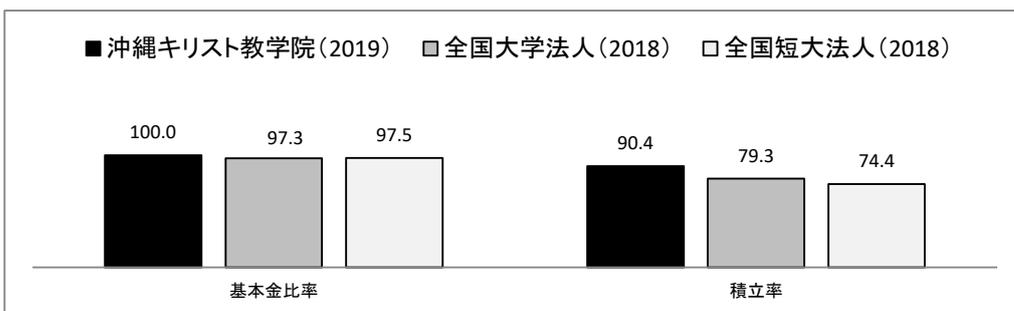
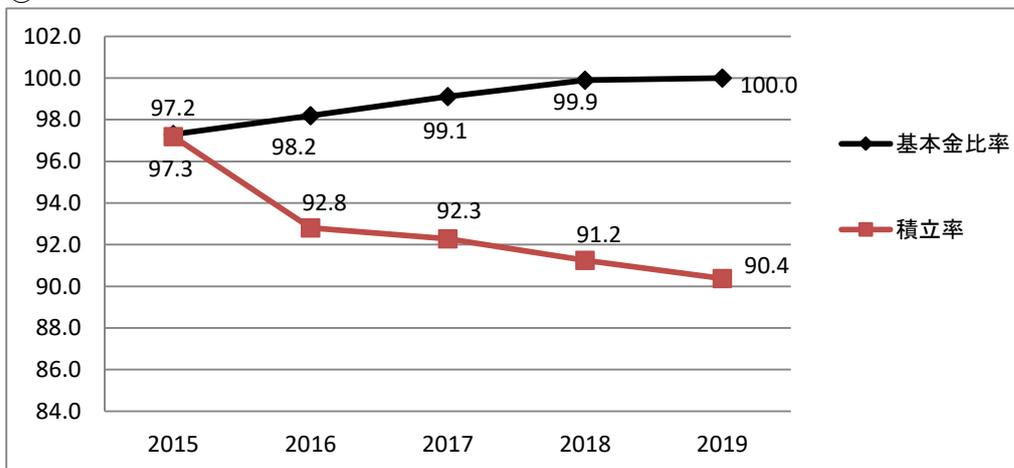
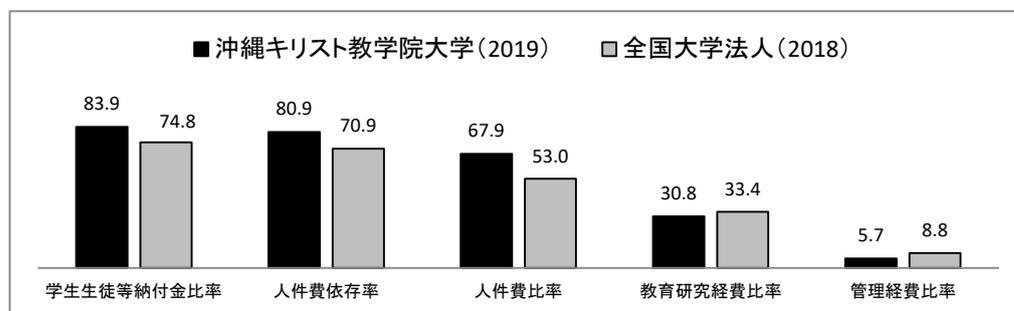
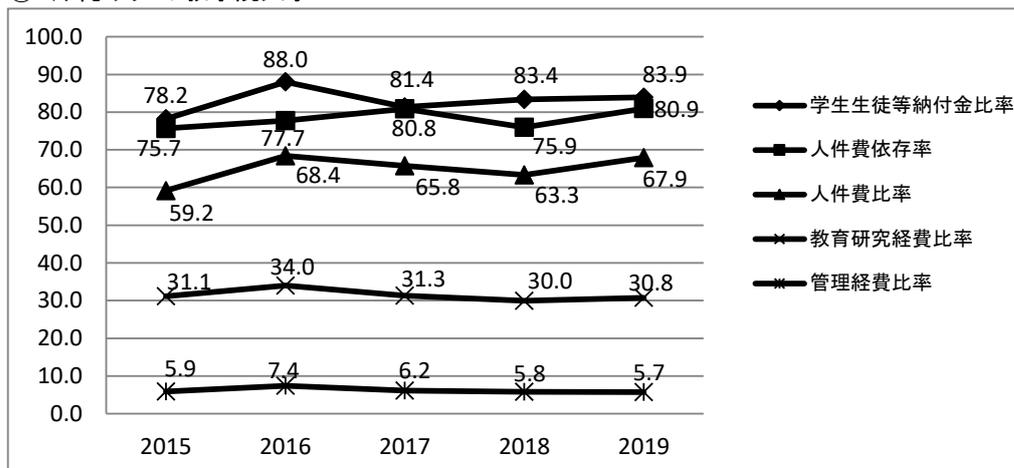


表2 「主要財務比率」より 活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書関連比率（その1）

① 沖縄キリスト教学院大学



② 沖縄キリスト教短期大学

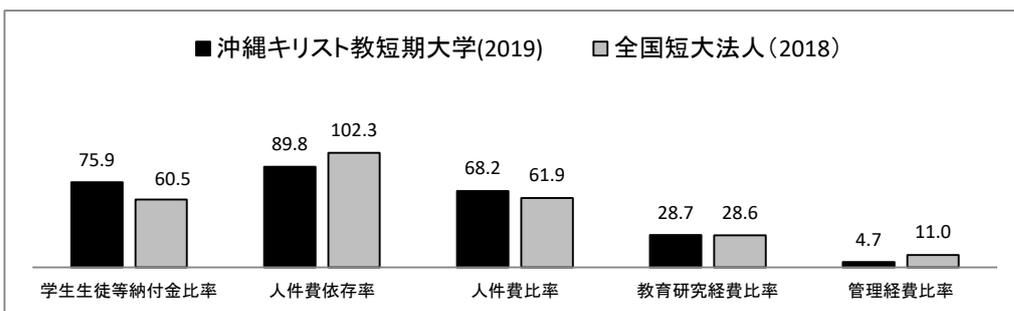
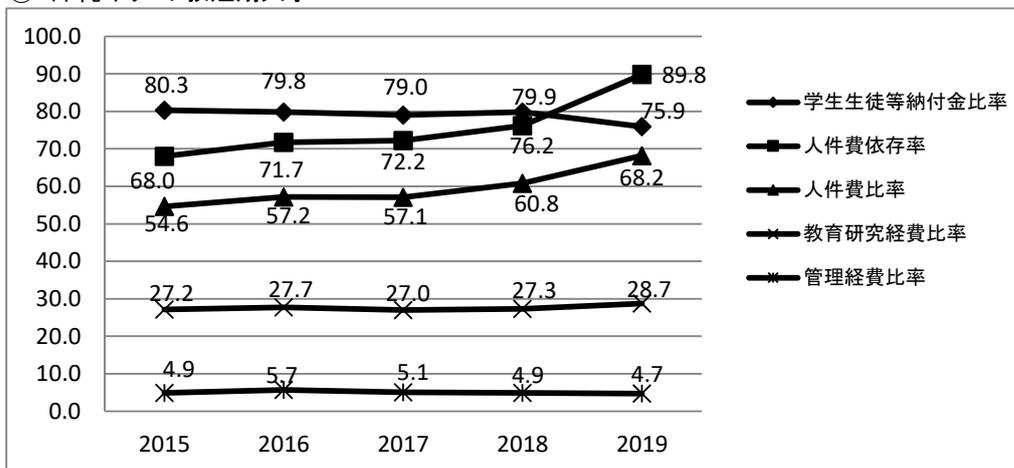
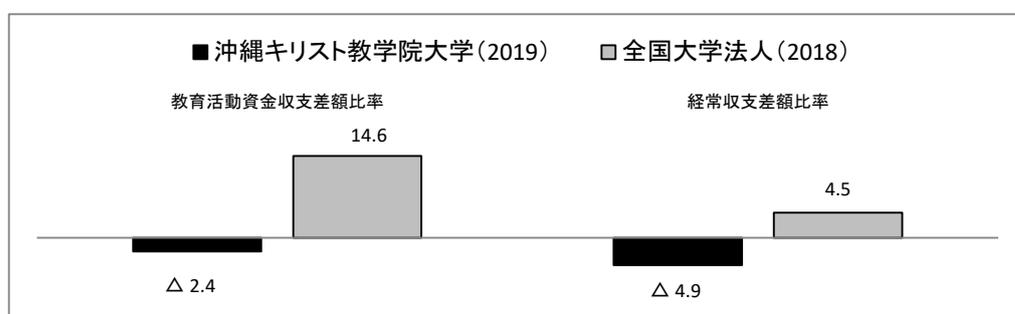
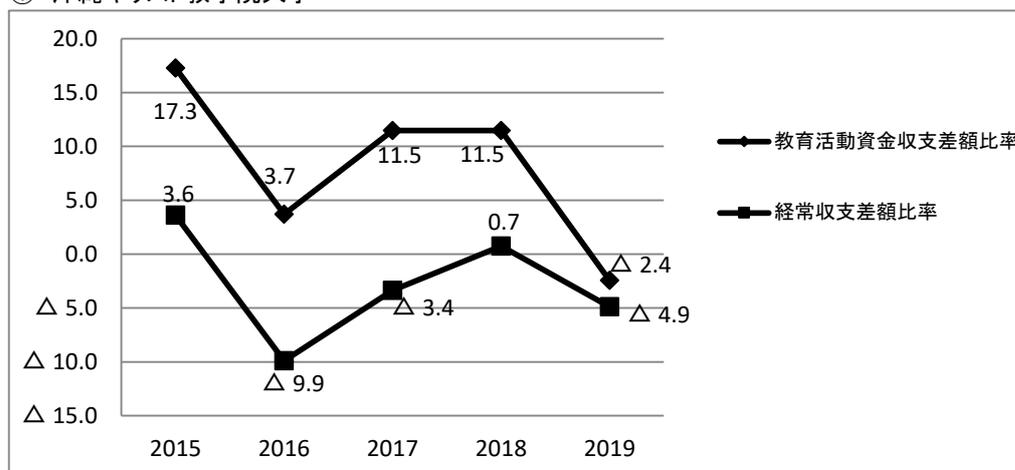


表3 「主要財務比率」より 活動区分資金収支計算書・事業活動収支計算書関連比率（その2）

① 沖縄キリスト教学院大学



② 沖縄キリスト教短期大学

